

「ヤングケアラー」に関する実態調査

－高校生世代向けアンケート調査結果報告書－

令和6年10月

杉並区

目次

はじめに	1
I. 調査の実施概要	3
1. 調査目的	3
2. 調査の概要	3
II. アンケート調査結果（単純集計結果）	4
1. 回答者のプロフィール	4
(1) 年齢	4
(2) 通学・通勤状況	4
(3) 同居家族	6
(4) 健康状態	7
2. ふだんの生活について	7
(1) 学校や仕事の通学・通勤状況	7
(2) 学校や仕事での生活	8
(3) 悩み事や困り事	9
3. 家庭や家族のことについて	11
(1) お世話をしている家族	11
(2) お世話の頻度や時間	18
(3) お世話することによる負担感	20
4. ヤングケアラーに対する支援	25
(1) 家族のお世話に関する相談	25
(2) 学校や周囲の大人に対する期待	28
(3) 希望する相談窓口・場所	29
(4) その他、悩みや気になること	30

5. ヤングケアラーについて.....	31
(1) 「ヤングケアラー」としての認識.....	31
(2) 「ヤングケアラー」の認知.....	32
III. クロス集計結果.....	34
1. 家族のお世話をしている方の特徴.....	34
(1) 通学・通勤状況.....	34
(2) 同居家族.....	35
(3) 健康状態.....	35
(4) 学校や仕事の通学・通勤状況.....	36
(5) 学校や仕事での生活.....	37
(6) 悩み事や困り事.....	38
(7) 「ヤングケアラー」の認知.....	39
2. 設問間（項目間）クロス集計.....	40
(1) お世話をしている家族の対象別にみたお世話の内容.....	40
(2) お世話の協力者と自由に使える時間.....	41
巻末資料（高校生世代向けアンケート調査票）.....	43

はじめに

国による「ヤングケアラー」についての全国調査の結果、本来大人が担うと想定されている、家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の「ヤングケアラー」と呼ばれる子どもたちが、潜在的にいることが浮き彫りになった。

令和2年度に国が全国の中学2年生や高校2年生を対象として実施した調査（令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」）によると、お世話をしている家族が「いる」と回答したのは、中学2年生で約17人に1人（5.7%）、高校2年生で約24人に1人（4.1%）という結果であった。また、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがない中高生は8割を超えるなど、まずは子どもに対する「ヤングケアラー」についての認知を広めるとともに、支援を必要としている子どもと、その家族に対する具体的な支援施策を検討することが求められている。

さらに、令和6年6月には「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」（令和6年法律第47号）において、「子ども・若者育成支援推進法」（平成21年法律第71号）が改正され、ヤングケアラーを「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者」と明記し、国・地方公共団体等が各種支援に努めるべき対象とした。

杉並区においても、ヤングケアラーへの支援を強化していくにあたり、昨年には区立学校の児童・生徒を対象とする「ふだんの生活や家庭に関するアンケート」、区立学校（管理者等）を対象とする「小・中学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査」、区内の高齢・障害関係の事業所を対象とする「ヤングケアラー支援に向けたアンケート調査」の3種の調査を実施し、実態を把握したところである。

そして、今回、杉並区在住の高校生世代を対象としてアンケート調査を行い、実態を把握するとともに、悩みや困り事などの解決に必要な支援策を検討することとなった。

I. 調査の実施概要

1. 調査目的

- ・子どもの権利が守られていない可能性があるにもかかわらず、本人や家族、周りの大人が、ヤングケアラーであることを自覚や認識をせず、問題が表面化しない状況を改善するにあたって、杉並区在住の高校生世代（現 16 歳・17 歳・18 歳：平成 18 年 4 月 2 日～平成 20 年 4 月 1 日生まれの方）全員を対象にアンケート調査を行い、学校や家庭での生活の中で抱える悩みや困り事などを把握することで、支援策の検討のための基礎資料とする。
- ・現在も子どもの権利が守られていない可能性がある生徒が、本調査を通して誰かに相談したい気持ちをもった場合の支援策として、アンケート調査票の最後に、子ども家庭部相談窓口の「ゆうライン」等を紹介する。

2. 調査の概要

◆調査対象

- ・杉並区在住の高校生世代（現 16 歳・17 歳・18 歳：平成 18 年 4 月 2 日～平成 20 年 4 月 1 日生まれの方）全員

◆調査方法

- ・対象者に依頼状を郵送し、対象者はスマートフォンやタブレットなどを使用し、依頼状に記載の QR コードもしくは URL から WEB アンケート票にアクセスして回答した。
- ・設問は、チェックボックスにて選択肢を選ぶ設問、数字や具体的な内容を入力する設問から構成した。

◆調査期間

2024 年（令和 6 年）7 月 22 日～8 月 14 日

◆発送回収

発送 7,723 件、回収 1,405 件（回収率 18.2%）

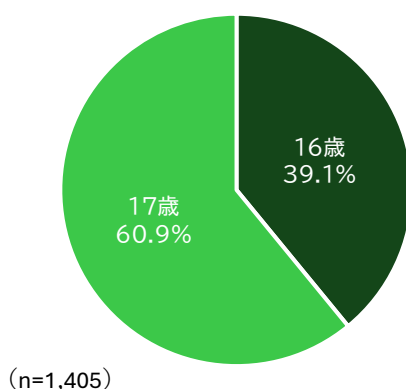
Ⅱ. アンケート調査結果（単純集計結果）

1. 回答者のプロフィール

（1）年齢

- ・回答者の年齢（令和6年4月1日現在）は、「16歳」が39.1%、「17歳」が60.9%であった。

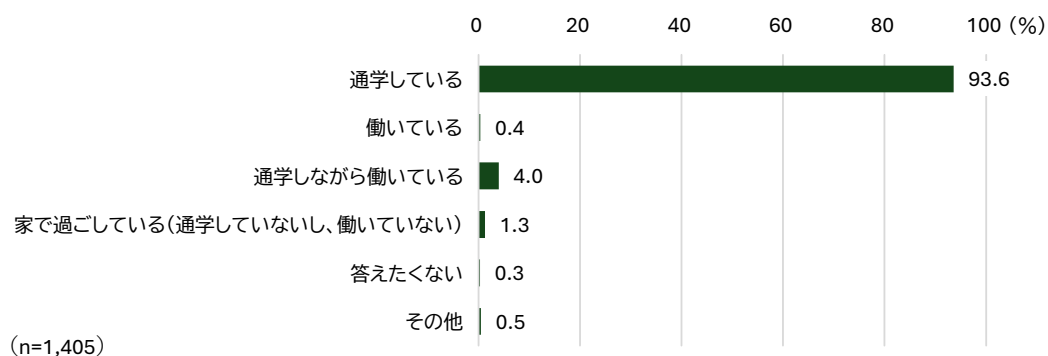
図表 2-1-1 回答者の年齢



（2）通学・通勤状況

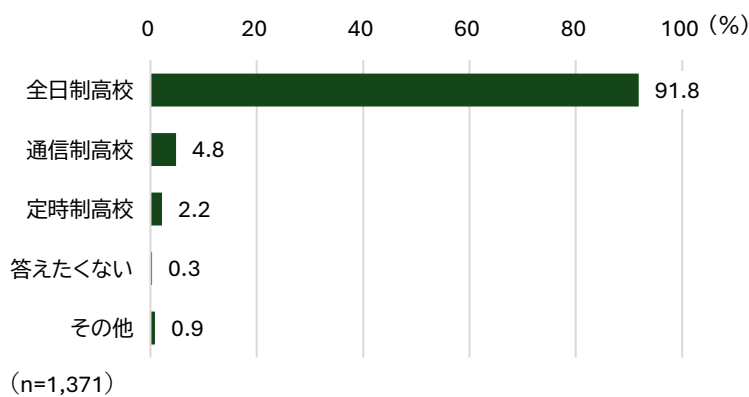
- ・通勤・通学状況については、ほとんどが「通学している」（93.6%）と回答した。
- ・そのほかの回答としては、「通学しながら働いている」が4.0%、「家で過ごしている（通学していないし、働いていない）」が1.3%、「働いている」が0.4%であった。

図表 2-1-2 通学・通勤状況

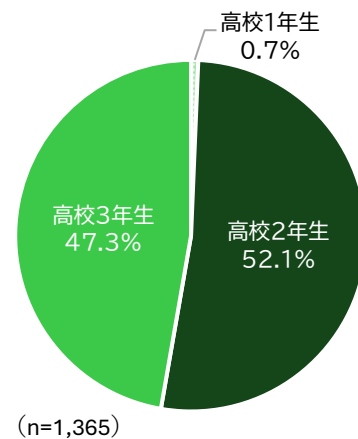


- ・「通学している」または「通学しながら働いている」と回答した方に、通っている学校の種類と学年を聞いた。
- ・まず、現在通っている学校の種類は、ほとんどが「全日制高校」(91.8%)だった。そのほかの回答としては、「通信制高校」が4.8%、「定時制高校」が2.2%だった。
- ・学年は「高校1年生」がわずかであり、「高校2年生」(52.1%)と「高校3年生」(47.3%)とで半々となった。

図表 2-1-3 通っている学校の種類

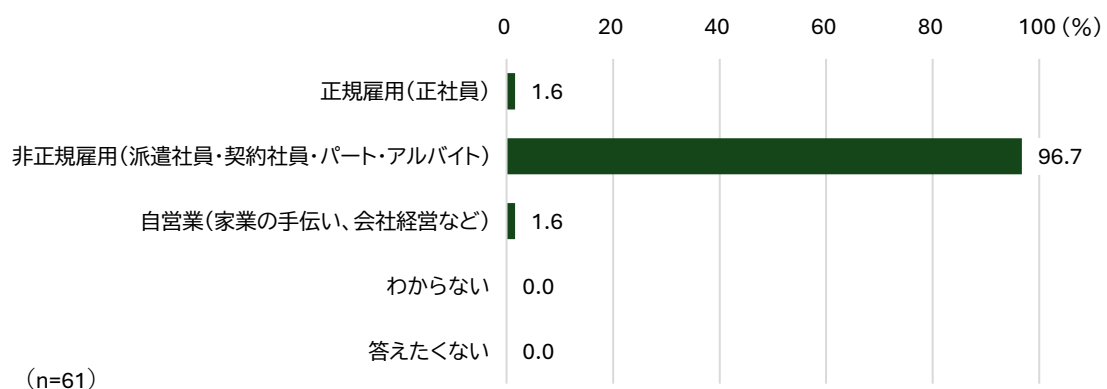


図表 2-1-4 学年



- ・「働いている」または「通学しながら働いている」と回答した方に、働き方(就業形態)を聞いたところ、ほとんどが「非正規雇用(派遣社員・契約社員・パート・アルバイト)」(96.7%)だった。そのほか、「正規雇用(正社員)」と「自営業(家業の手伝い、会社経営など)」は、それぞれ1人(1.6%)だった。

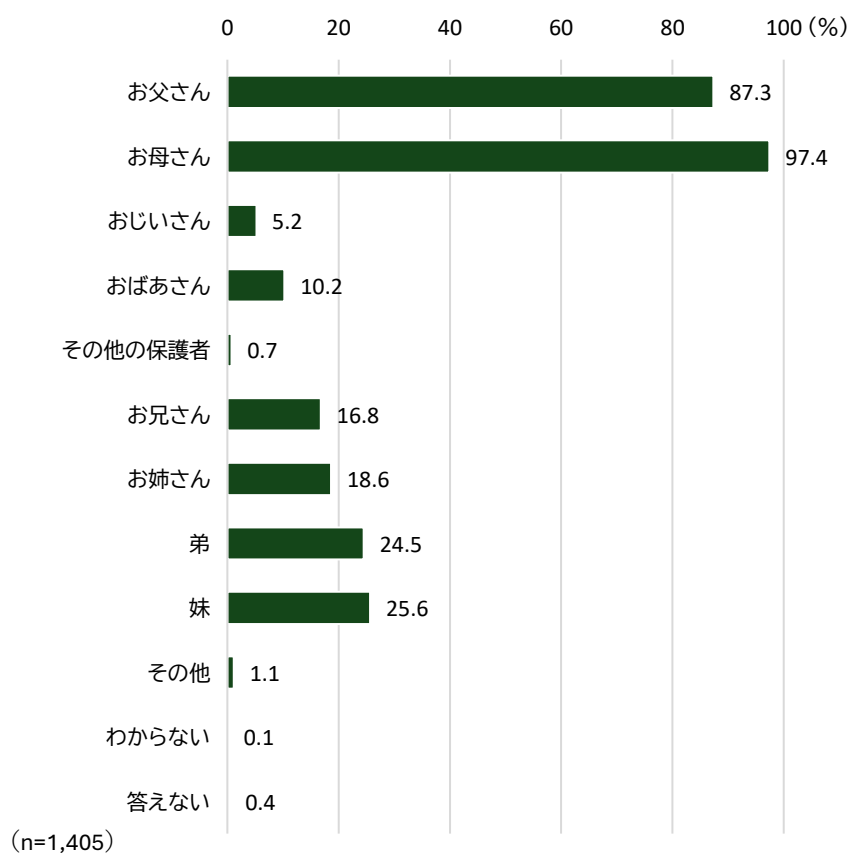
図表 2-1-5 就業形態



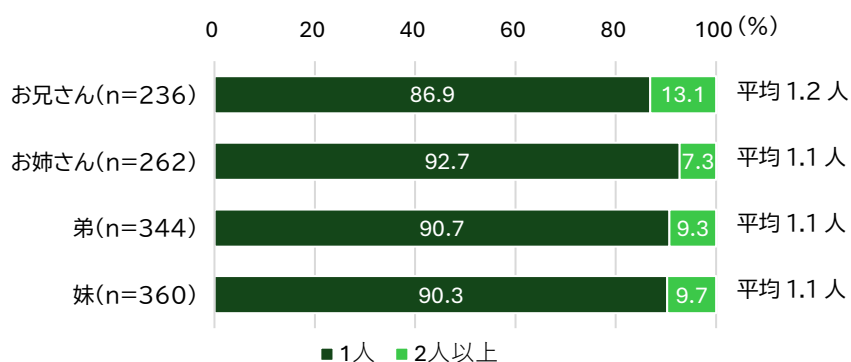
(3) 同居家族

- ・同居家族は、「お父さん」が 87.3%、「お母さん」が 97.4%で、きょうだいは「お兄さん」が 16.8%、「お姉さん」が 18.6%、「弟」が 24.5%、「妹」が 25.6%だった。また、「おじいさん」は 5.2%、「おばあさん」は 10.2%だった。
- ・きょうだいがいる方には、その人数を聞いたところ、いずれも 9 割程度は「1人」という回答だった。

図表 2-1-6 同居家族（複数回答）

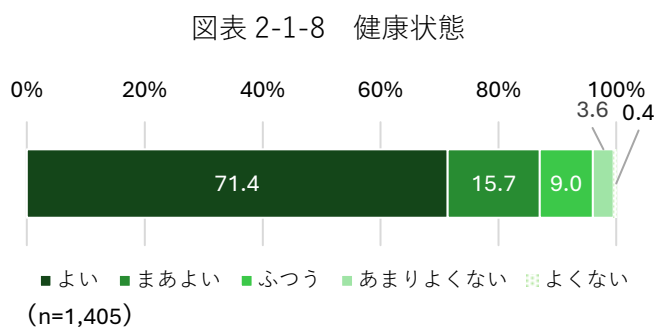


図表 2-1-7 きょうだいの人数



(4) 健康状態

- ・ 本人の健康状態を聞いたところ、「よい」が71.4%、「まあよい」が15.7%で、回答者の87.1%が概ねよいという回答だった。そのほか、「ふつう」は9.0%、「あまりよくない」は3.6%、「よくない」は0.4%だった。



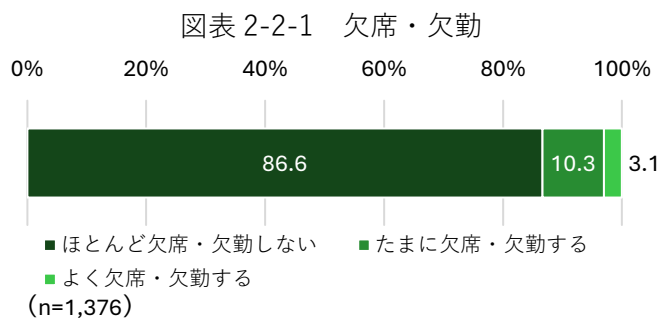
2. ふだんの生活について

(1) 学校や仕事の通学・通勤状況

- ※1. (2) で「通学している」、「働いている」、「通学しながら働いている」のいずれかを選んだ回答者のみ

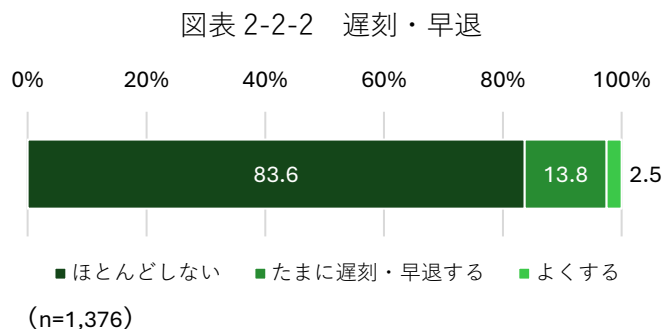
① 学校や仕事の欠席・欠勤状況

- ・ 学校や仕事の欠席・欠勤状況については、「ほとんど欠席・欠勤しない」が86.6%、「たまに欠席・欠勤する」が10.3%、「よく欠席・欠勤する」が3.1%だった。



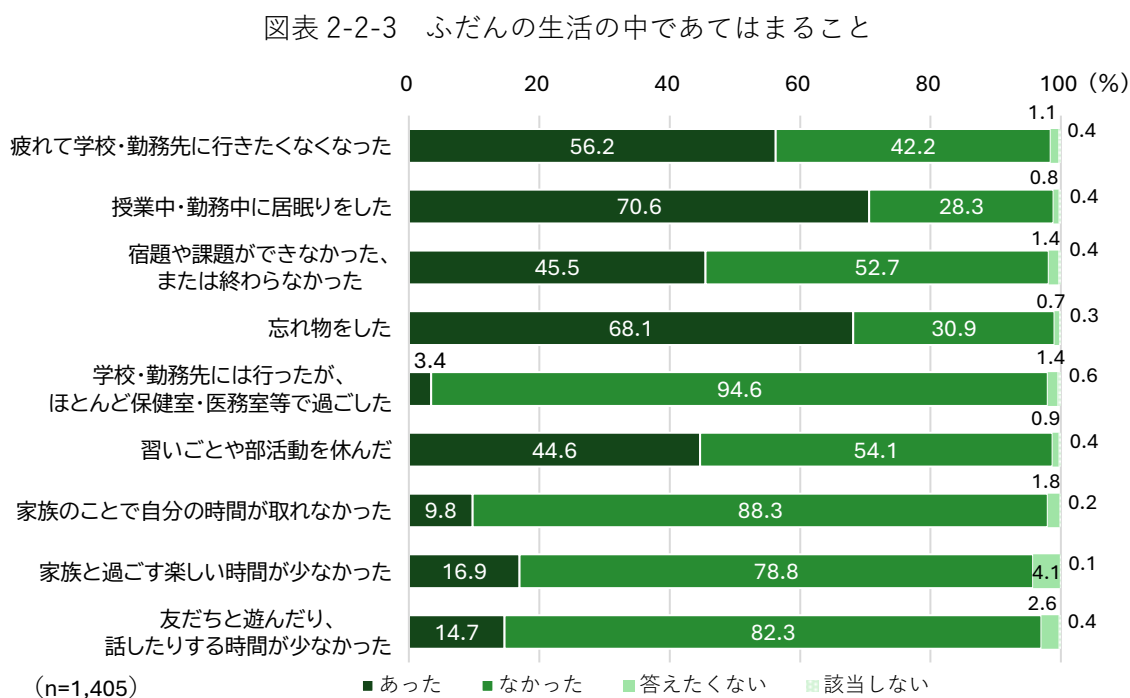
② 学校や仕事の遅刻・早退状況

- ・学校や仕事の遅刻・早退状況については、「ほとんどしない」が83.6%、「たまに遅刻・早退する」が13.8%、「よくする」が2.5%だった。



(2) 学校や仕事での生活

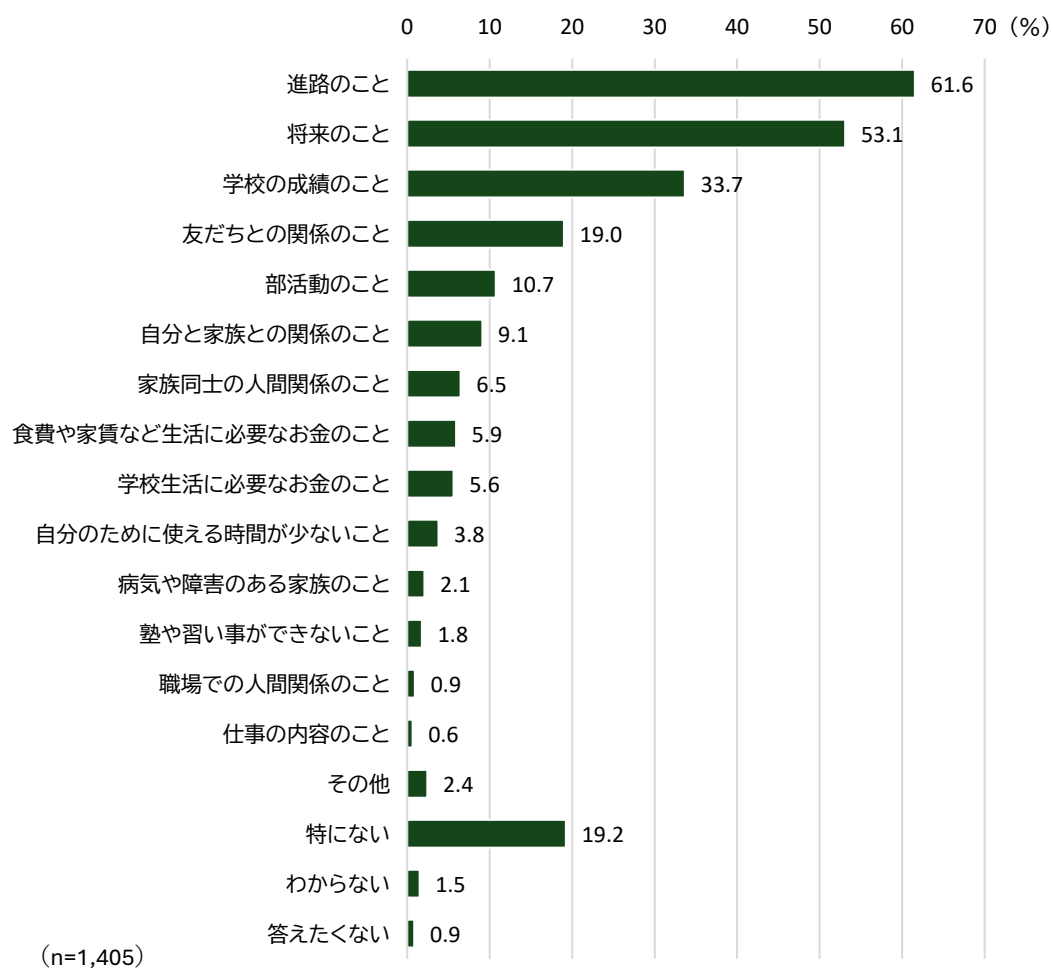
- ・ふだんの生活の中であてはまることを聞いたところ、「あった」という回答が多かったのは、「授業中・勤務中に居眠りをした」(70.6%)や「忘れ物をした」(68.1%)、「疲れて学校・勤務先に行きたくなくなった」(56.2%)などであった。



(3) 悩み事や困り事

- ・現在の悩み事や困り事は、「進路のこと」が 61.6%で最も多く、次いで「将来のこと」の 53.1%、「学校の成績のこと」の 33.7%と続く。

図表 2-2-4 現在の悩み事や困り事（複数回答）



【「その他」の回答（例示）】

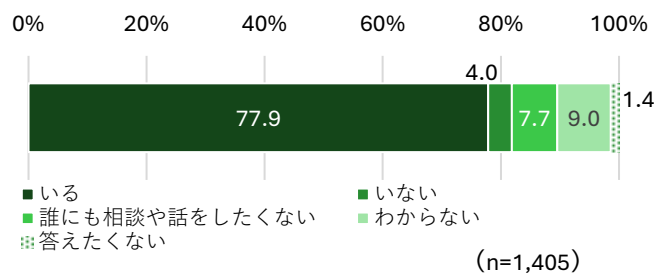
- 自分の健康状態
- 自分の体調のこと
- 自分の病気のこと
- 躁鬱状態が続くこと
- 膝に障害を抱えながら生きていくこと
- やる気が出ないこと
- 金銭のこと
- 父親のこと
- 恋愛などで、他者と距離感を感じたり、不安が続くこと

- 人生について
- 成人しても自立できない兄弟がいて、両親がいなくなった後誰が世話をするのか不安になる。今までつらかったのが離れて暮らしたい。兄弟にお金がかかるので、自分の進学先は地元しか選べなくて悲しい。
- 友人が、自分も障害を持っていながら、親の障害の世話をしているヤングケアラーであること。

※自由回答については一部を紹介する。内容が重複している意見及び同様の意見は省略している。必ずしも原文のままではないが、なるべく回答者の表現を用いる形で記載している(以下同様)。

- ・現在の悩み事や困り事について、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいるか聞いたところ、「いる」が77.9%、「いない」は4.0%であった。なお、「誰にも相談や話をしたくない」という回答も7.7%みられた。

図表 2-2-5 相談相手の有無



3. 家庭や家族のことについて

(1) お世話をしている家族

① お世話をしている家族の有無

- ・下記のとおり、ヤングケアラーの定義（お世話の内容）を調査票上で示したうえで、あらためて家族の中にお世話をしている人がいるか聞いたところ、「いる」が4.5%、「いない」が95.5%であった。

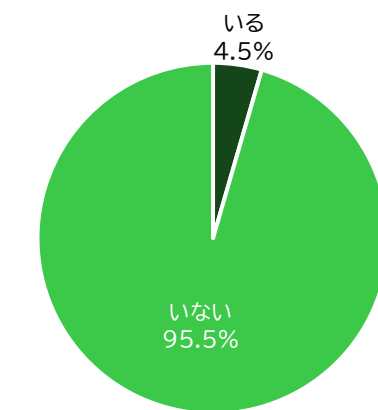
「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをすることです。

(例)

- 兄弟のお世話や保育園などへの送り迎え
- ごはんを食べさせてあげる、物を取ってあげる、立ち上がる時などの手伝い
- 買いものや病院へ行く時など、歩きやすいようにする手伝い
- 家族の話聞いてあげる、元気づける、その人の側そばにいてあげる
- 危ないことがないように、いつも家族を見ていたり、声を掛けたりする
- 薬を用意したり、薬を飲んだか確かめたりする など

※「お世話」にはペットのお世話は含まれません

図表 2-3-1 お世話をしている家族の有無



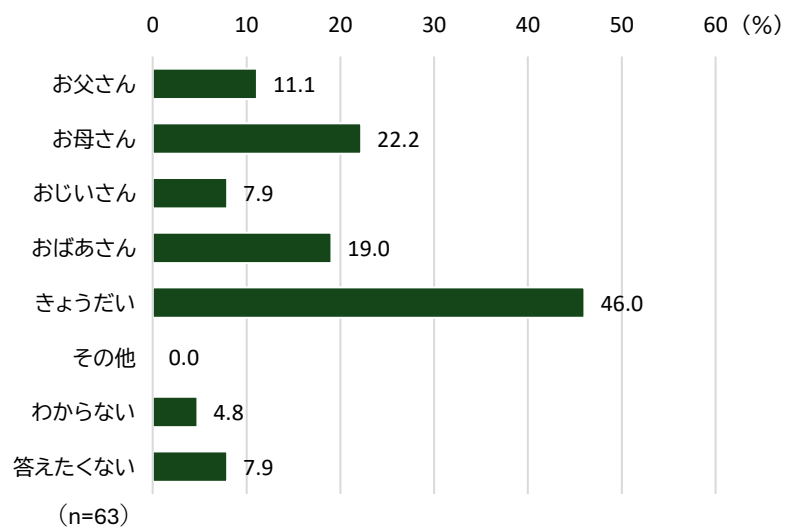
(n=1,405)

※以降は、お世話をしている家族が「いる」とした回答者のみ（63人）の集計結果となるが、回答数が少ないため、以下に示す「%」はあくまでも参考扱いとする。

② お世話をしている家族

- ・実際にお世話をしている家族を聞いたところ、「きょうだい」が46.0%で最も多く、半数近くを占めた。次いで、「お母さん」の22.2%、「おばあさん」の19.0%と続く。

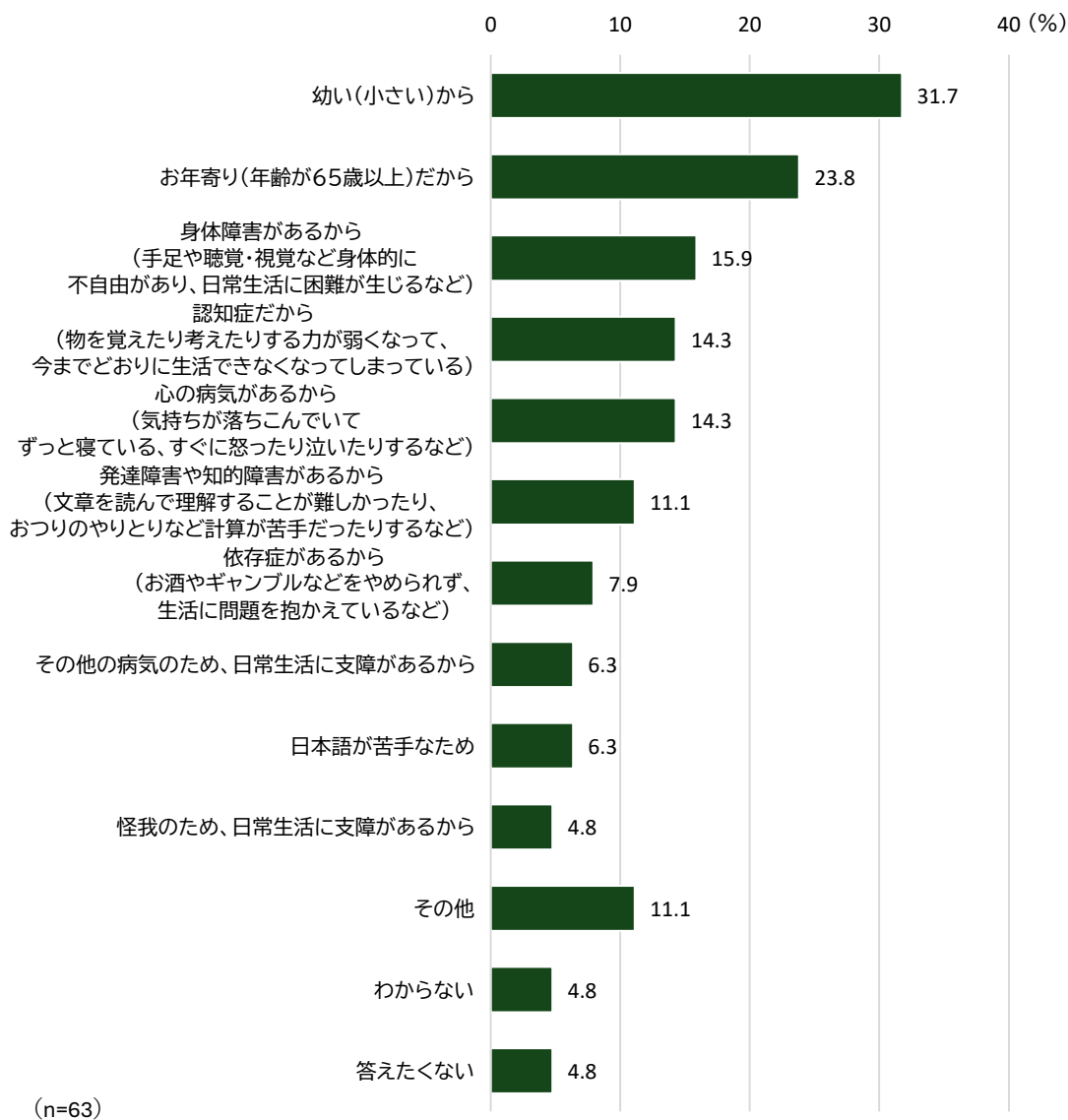
図表 2-3-2 お世話をしている家族（複数回答）



③ お世話をしている家族の状況

- ・お世話をしている家族の状況は、「若い（小さい）から」が31.7%で最も多く、次いで「お年寄り（年齢が65歳以上）だから」の23.8%と続く。以降、「身体障害があるから」や「認知症だから」、「心の病気があるから」、「発達障害や知的障害があるから」といった心身の病気や障害に関する事柄が続く。

図表 2-3-3 お世話をしている家族の状況（複数回答）



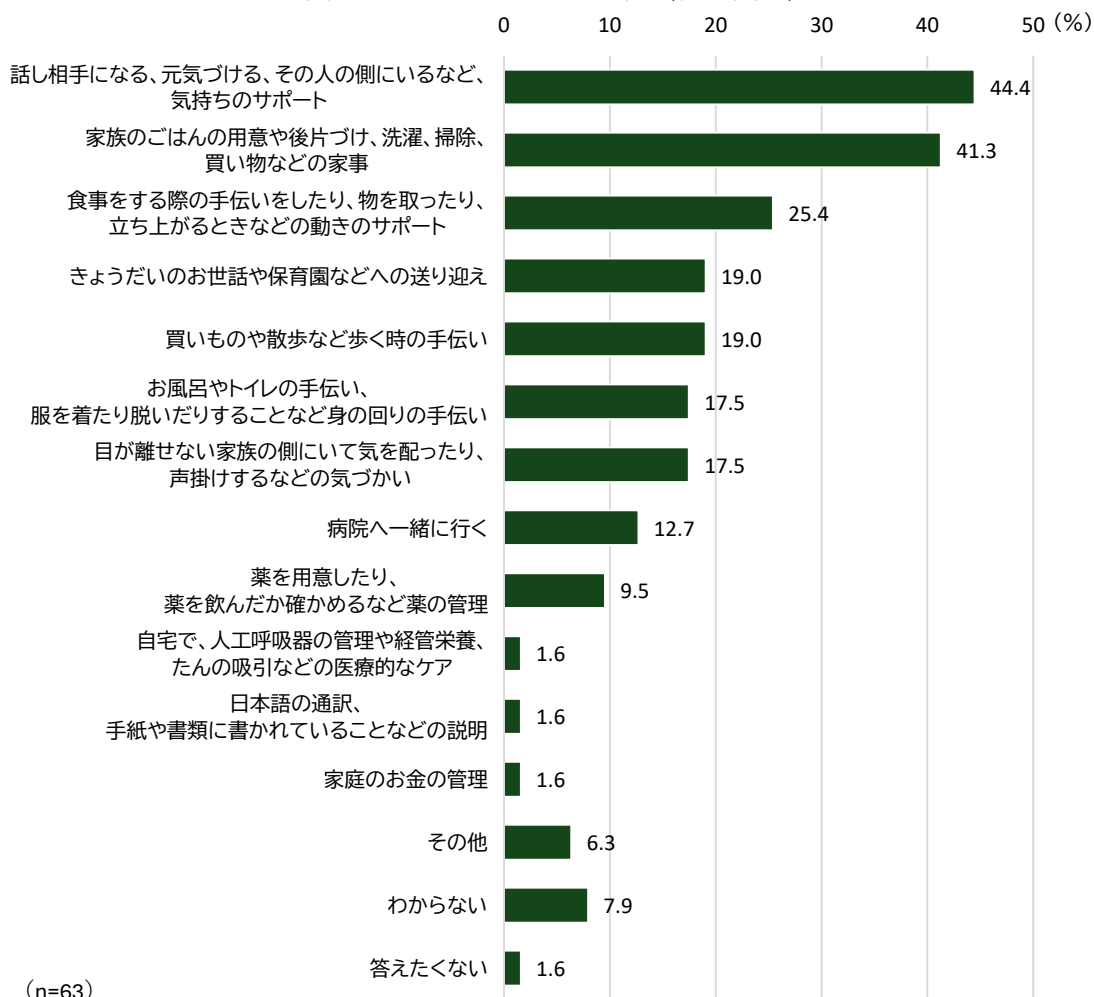
【「その他」の回答（例示）】

- 弟は幼く、妹は受験生だから
- 父親が元々鬱病で(今は改善傾向)、父親のフォローをしつつ、父親によって不安定になった母親をフォロー
- 障害のある兄弟の世話で心身が疲れ切っている母に代わり、家事や兄弟の世話をする
- 母子家庭で母親の帰ってくる時間が遅かったり家にいる時間が少ないため

④ お世話の内容

- ・お世話の具体的な内容は、「話し相手になる、元気づける、その人の側にいるなど、気持ちのサポート」が 44.4%で最も多く、次いで「家族のごはんの用意や後片づけ、洗濯、掃除、買い物などの家事」の 41.3%、「食事をする際の手伝いをしたり、物を取ったり、立ち上がる時などの動きのサポート」の 25.4%と続く。

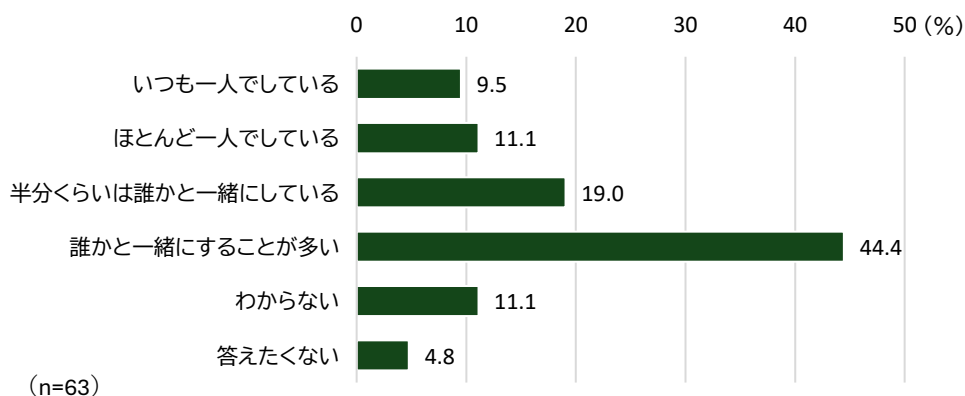
図表 2-3-4 お世話の内容（複数回答）



⑤ お世話の協力者の有無

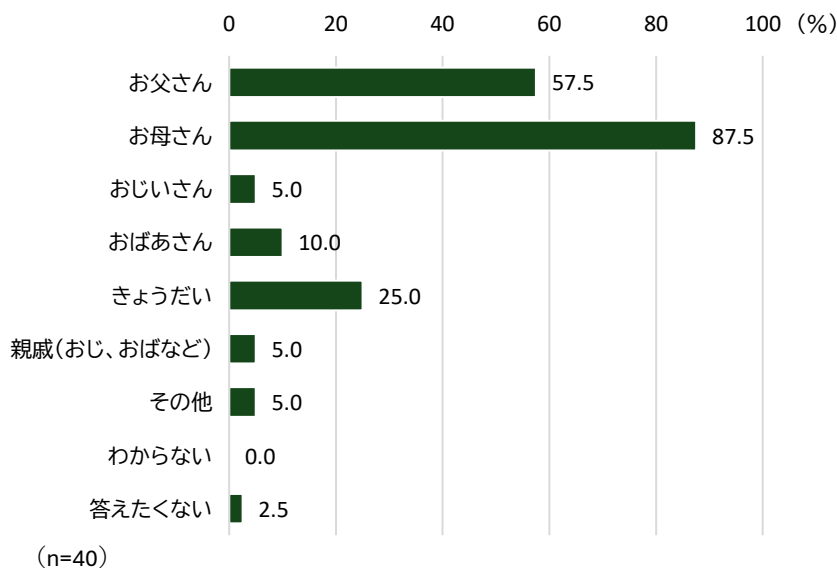
- ・ 家族へのお世話を一人または誰かと一緒にするか聞いたところ、「誰かと一緒にすることが多い」が44.4%で最も多く、次いで「半分くらいは誰かと一緒にしている」の19.0%と続く。
- ・ なお、「いつも一人でしている」(9.5%)と「ほとんど一人でしている」(11.1%)を合わせた割合は20.6%だった。

図表 2-3-5 お世話の協力者の有無



- ・ 「半分くらいは誰かと一緒にしている」もしくは「誰かと一緒にすることが多い」と答えた方に、誰とお世話をしているか聞いた。その結果、「お母さん」が87.5%で最も多く、次いで「お父さん」の57.5%、「きょうだい」の25.0%と続いた。
- ・ なお「その他」の具体的な回答は、「訪問介護員（ホームヘルパー）」だった。

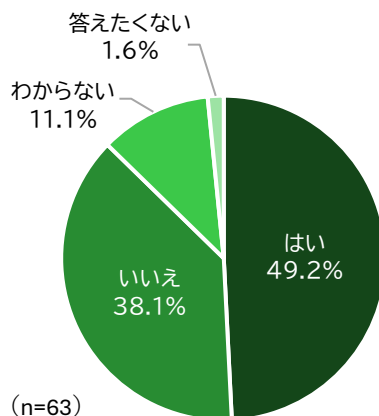
図表 2-3-6 一緒にお世話をしている人



⑥ 医療や福祉サービスの利用

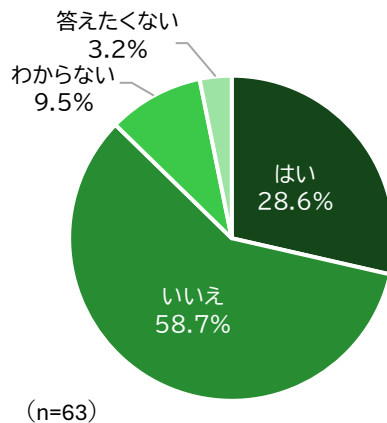
- ・お世話を必要としている人が、病院へ通ったり、訪問診療を受けているか聞いたところ、「はい」が49.2%、「いいえ」が38.1%で、病院や医師にかかっている人が約半数を占めた。

図表 2-3-7 通院や訪問診療の有無

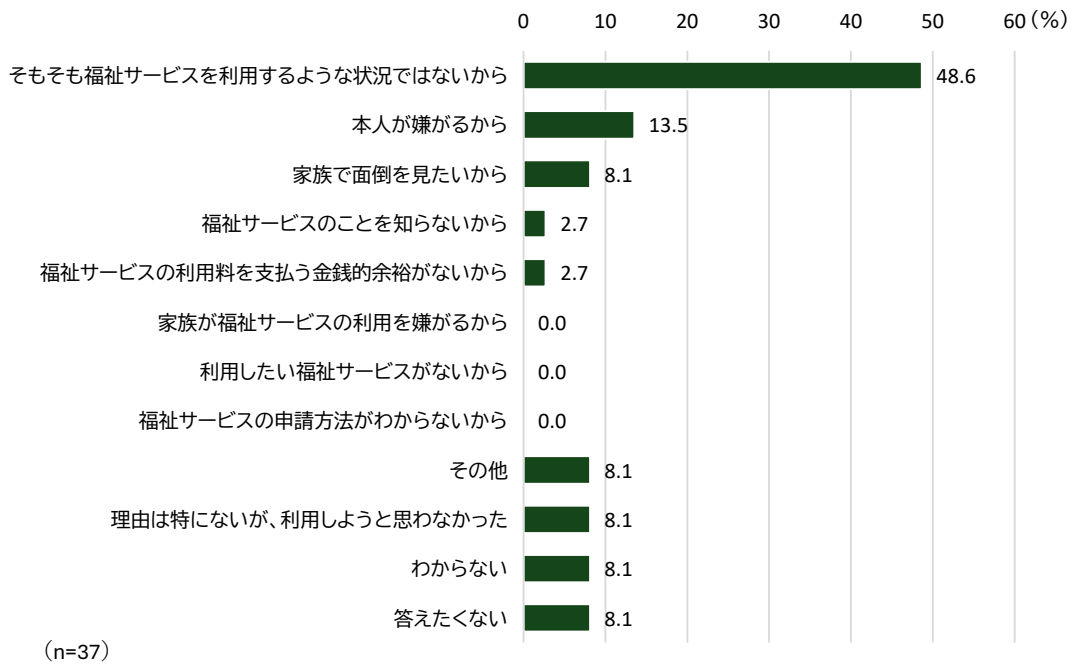


- ・お世話を必要としている人が、福祉サービス（ホームヘルパー、デイサービス、移動支援サービス、送迎支援など）を利用しているか聞いたところ、「はい」が28.6%、「いいえ」が58.7%で、福祉サービスを利用していない人が6割を占めた。
- ・なお、「いいえ」と答えた方に福祉サービスを利用していない理由を聞いたところ、「そもそも福祉サービスを利用するような状況ではないから」が48.6%で最も多く、半数を占めた。

図表 2-3-8 福祉サービス利用の有無



図表 2-3-9 福祉サービスを利用していない理由（複数回答）



【「その他」の回答】

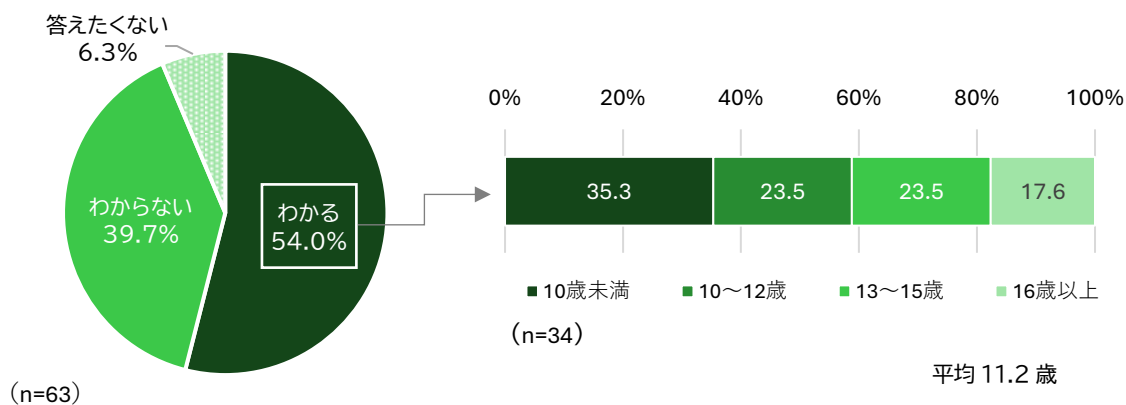
- うつ(双極性)のため定期的に精神科へ通っている
- その必要がないから
- 子どもだから

(2) お世話の頻度や時間

① お世話の開始年齢

- ・ だいたい何歳くらいからお世話をしているか、「わかる」が 54.0%、「わからない」が 39.7%、「答えたくない」が 6.3%であった。
- ・ 「わかる」と回答した方に、お世話の開始年齢を聞いたところ、その平均は 11.2 歳だった。分布をみると、「10 歳未満」(小学校低学年)が 35.3%、「10～12 歳」(小学校高学年)が 23.5%、「13～15 歳」(中学生)が 23.5%、「16 歳以上」(高校生)が 17.6%であった。

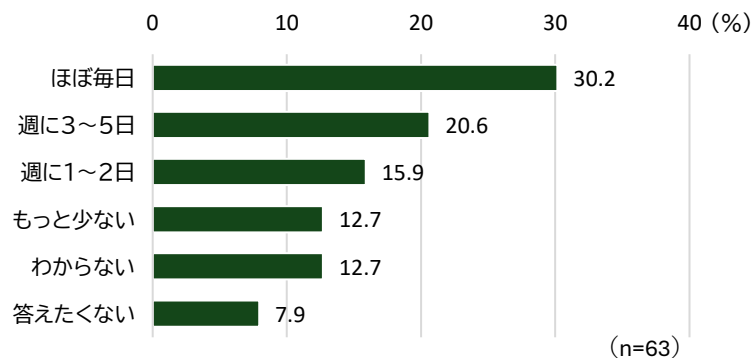
図表 2-3-10 お世話の開始年齢



② お世話の頻度

- ・ どれくらいお世話をしていると感じているか聞いたところ、「ほぼ毎日」が 30.2%で最も多く、次いで「週に 3～5 日」の 20.6%と続く。

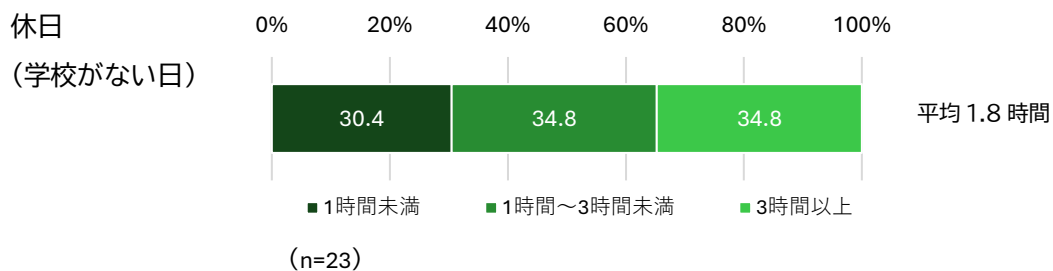
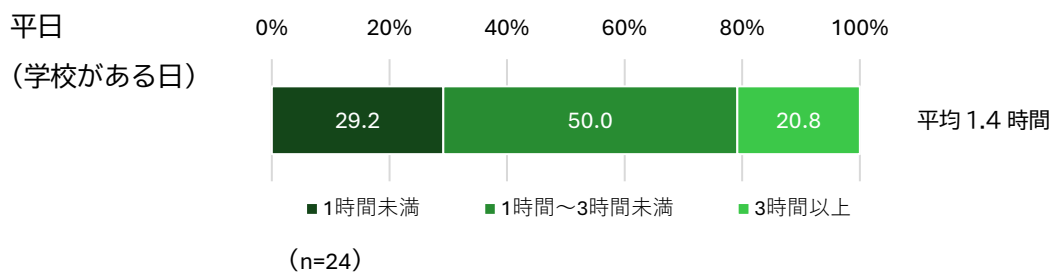
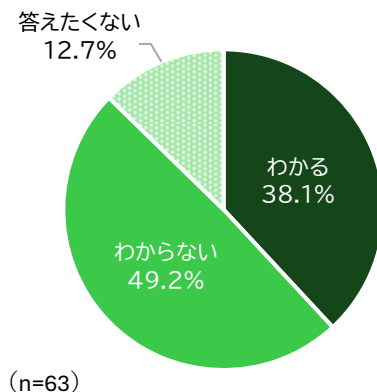
図表 2-3-11 お世話の頻度



③ 1日のお世話の時間

- ・平日（学校がある日）と休日（学校がない日）に、それぞれ何時間くらいお世話をしているか、「わかる」が38.1%、「わからない」が49.2%、「答えたくない」が12.7%であった。「わかる」と回答した方に平日と休日のお世話の時間を聞いた。
- ・平日にお世話をしている時間は、平均1.4時間だった。分布をみると、「1時間～3時間未満」が50.0%で最も多く半数を占めた。
- ・休日にお世話をしている時間は平日よりも長く、平均1.8時間だった。分布をみると、「1時間未満」と「1時間～3時間未満」、「3時間以上」で回答が3分割される結果となった。

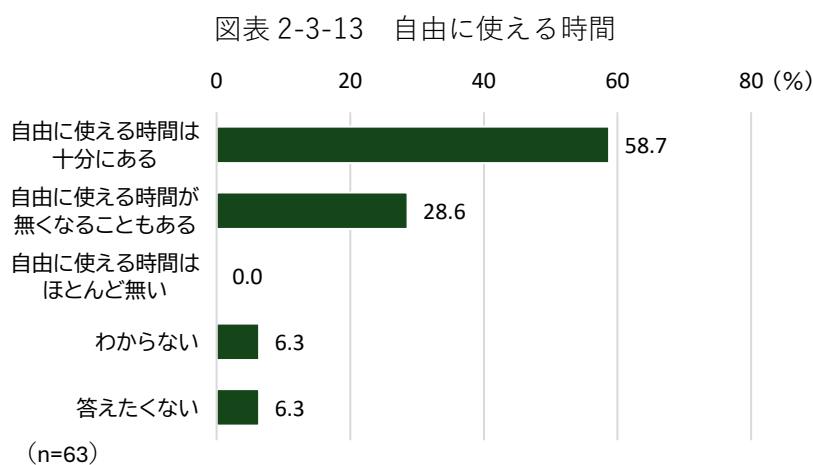
図表 2-3-12 1日のお世話の時間



(3) お世話することによる負担感

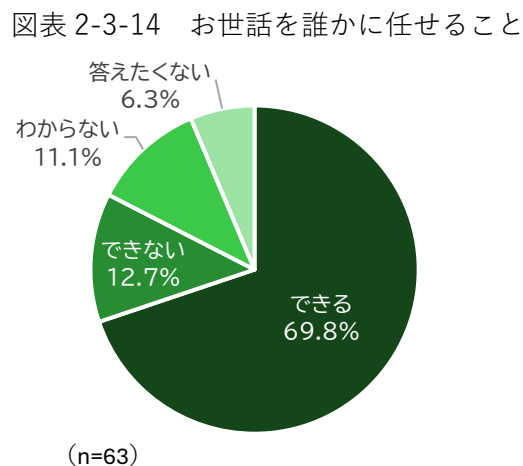
① 自由に使える時間

- ・お世話をしていることで、自由に使える時間（友だちと遊んだり部活動をするなど）が無いと感じることがあるか聞いたところ、「自由に使える時間は十分にある」が58.7%で最も多く、次いで「自由に使える時間が無くなることもある」の28.6%と続く。
- ・「自由に使える時間はほとんど無い」という回答はみられなかった。



② お世話を家族やほかの誰かに任せること

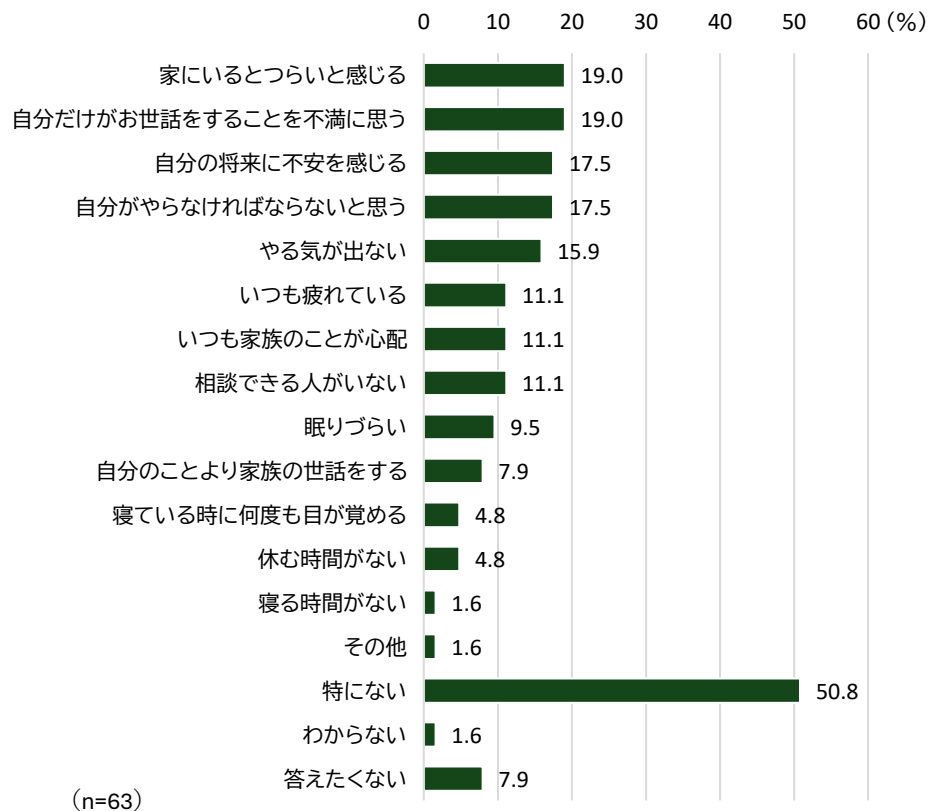
- ・お世話をするを家族やほかの誰かに任せられることができるか聞いたところ、「できる」が69.8%で最も多かった。一方、「できない」という回答（自分以外にお世話する人がいない）は12.7%みられた。



③ お世話をすることによる影響

- ・ 家族のお世話をすることによる生活への影響を聞いたところ、「特にない」が50.8%で最も多く半数を占めた。
- ・ 該当する中では、「家にいるとつらいと感じる」と「自分だけがお世話をすることを不満に思う」が19.0%、「自分の将来に不安を感じる」と「自分がやらなければならないと思う」が17.5%と比較的多くなっている。

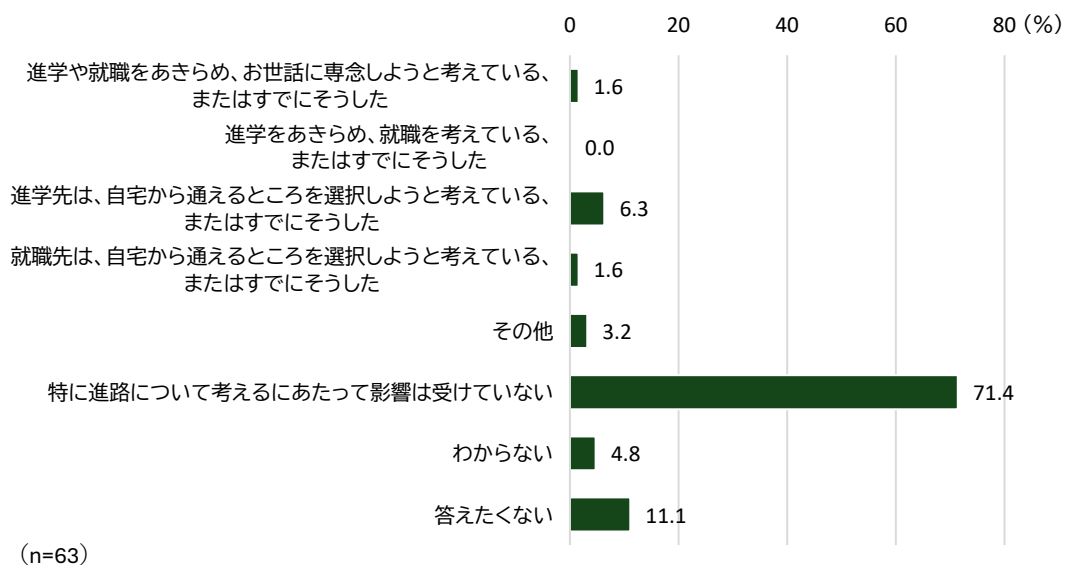
図表 2-3-15 お世話をすることによる影響（複数回答）



④ お世話をすることによる進路への影響

- ・家族のお世話をすることによって、進路を考える際に影響があったか聞いたところ、「特に進路について考えるにあたって影響は受けていない」が71.4%で最も多かった。
- ・影響を受けたと答えた中では、「進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている、またはすでにそうした」が6.3%であった。

図表 2-3-16 お世話をすることによる進路への影響



【「その他」の回答】

- 遠方に進学、就職して家族と縁を切ろうとしている
- 親と離れたいため地方の大学に進学する予定

⑤ 家族のお世話がなければやりたかったこと

- ・家族のお世話がなければやりたかったこと、あきらめてしまったこと、またどういう環境や状況になれば、それが実現すると思うか聞いた（自由回答）。

●自分の気持ちや行動を抑えていた

- ・今はほとんど改善している(かなり距離をとっている)が、昔は常に父親をパニックにさせないように気を遣っていたため、自分のしたいことがわからない、本心が言えないなどの影響があった。大学を地方志望にしており、親と離れることが一番良い選択だと感じる。
- ・何も考えずやりたいことをする。
- ・今までやってきたことをやめて新しいことを始めようとしたとき、目の前で自傷行為をされたとき。
- ・罪悪感なく遊んだり、部活に専念したい。
- ・弟がいるから一度も家に友達をよんだことがない。弟の障害を学校で内緒にしている。隠さずにいたかったし、友達と家で遊びたかった。家を離れて進学したかったのに、今は経済的に難しいし弟の将来のためにお金を貯めなくてはならないので、独り暮らしは諦めてほしいと言われた時に、弟の障害がなかったら違ったのかもしれないと思った。

●家族等への不満

- ・父親のモラハラ、借金や祖母の障害がなければ、試験前に自宅で勉強ができた。親が親じゃなかったら楽しい高校生活が送れたかもしれない。
- ・父親のお酒依存が無ければ家族の団欒の時間が楽しくなると思う。父親は帰ってきたらお酒を飲んで家族にあたることが多いから。または夜帰ってこずに朝帰ってくることもあり家族を心配させていることも不愉快に思う。

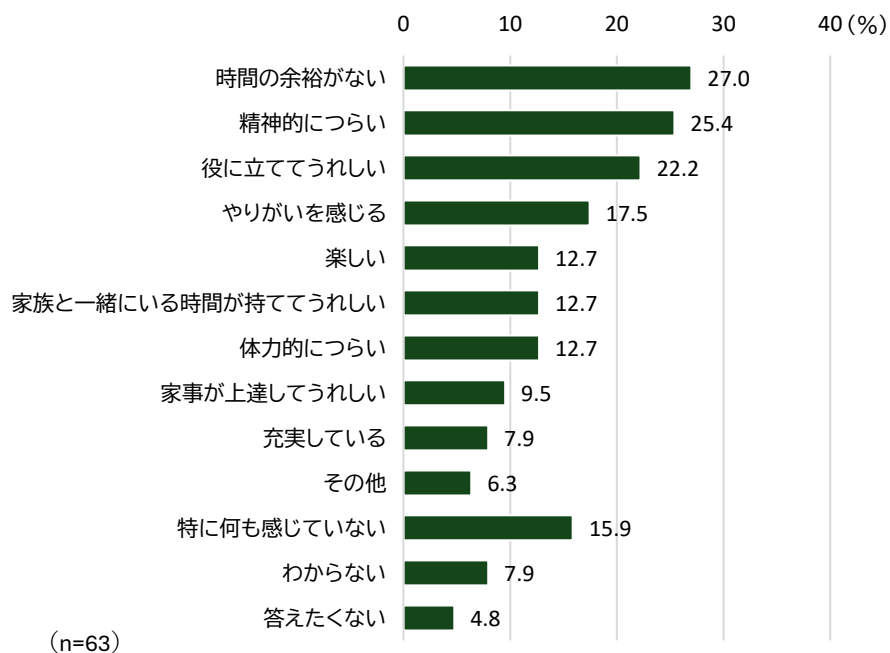
●自分の時間が限られる

- ・親が共働きで、ご飯を作る以外の家事は私が全部ひとりでやっていて、ゆっくりする時間がないので、これから妹と弟にも手伝ってもらおう。
- ・外に出かけることができない。妹が学童に行けば少し自由になる。
- ・中学生時代、放課後ともだちと遊びに行くこと。小さな子を他に誰か見ていてくれる人がいれば遊びに行けた。
- ・睡眠時間が減った。

⑥ 家族のお世話に対して感じること

- ・家族のお世話をする事によって、どのように感じているか聞いたところ、最も多かったのは「時間の余裕がない」の27.0%、次いで「精神的につらい」の25.4%と続く。また、それ以降は「役に立ててうれしい」(22.2%)や「やりがいを感じる」(17.5%)など前向きな回答もみられた。
- ・なお、「特に何も感じていない」は15.9%だった。

図表 2-3-17 お世話に対して感じること（複数回答）



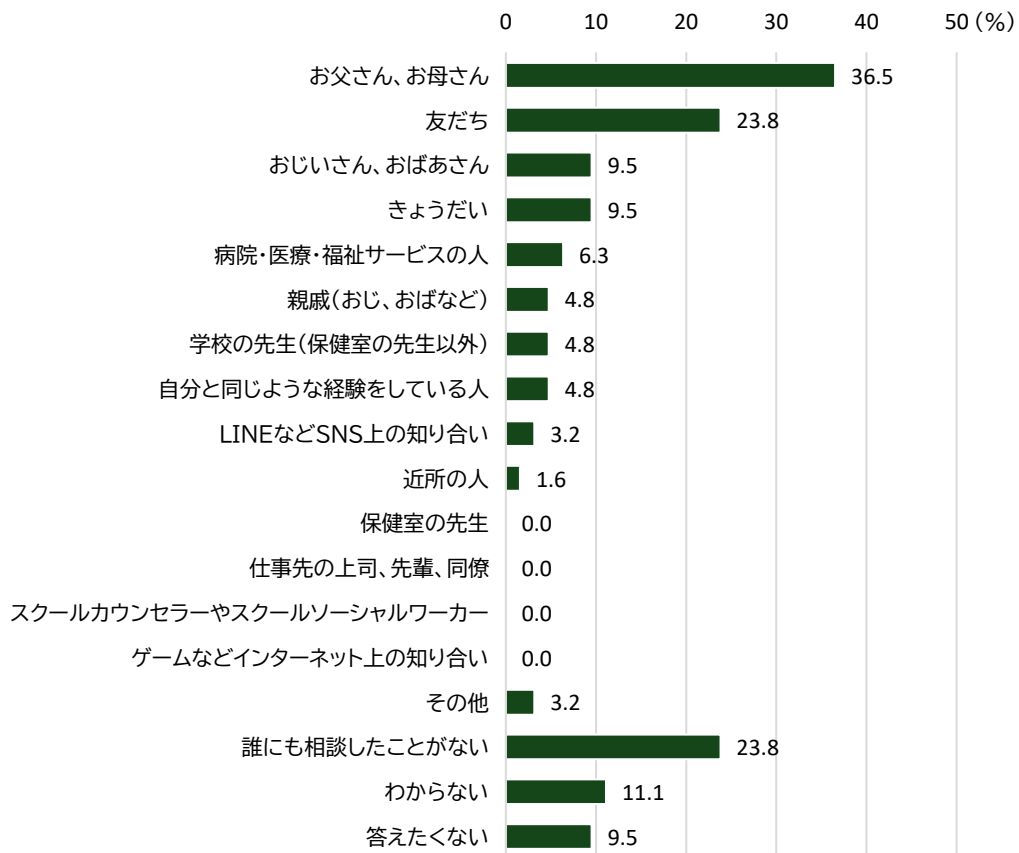
4. ヤングケアラーに対する支援

(1) 家族のお世話に関する相談

① 相談相手

- ・お世話をしている家族のことやお世話の悩みについて誰かに相談したことがあるか聞いたところ、「お父さん、お母さん」が36.5%で最も多く、次いで「友だち」の23.8%と続く。
- ・回答がなかったのは「保健室の先生」や「仕事先の上司、先輩、同僚」、「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー」、「ゲームなどインターネット上の知り合い」だった。
- ・「その他」の回答には、「彼女」「恋人」が挙げられた。
- ・「誰にも相談したことがない」は23.8%で、4分の1を占めた。

図表 2-4-1 相談相手（複数回答）

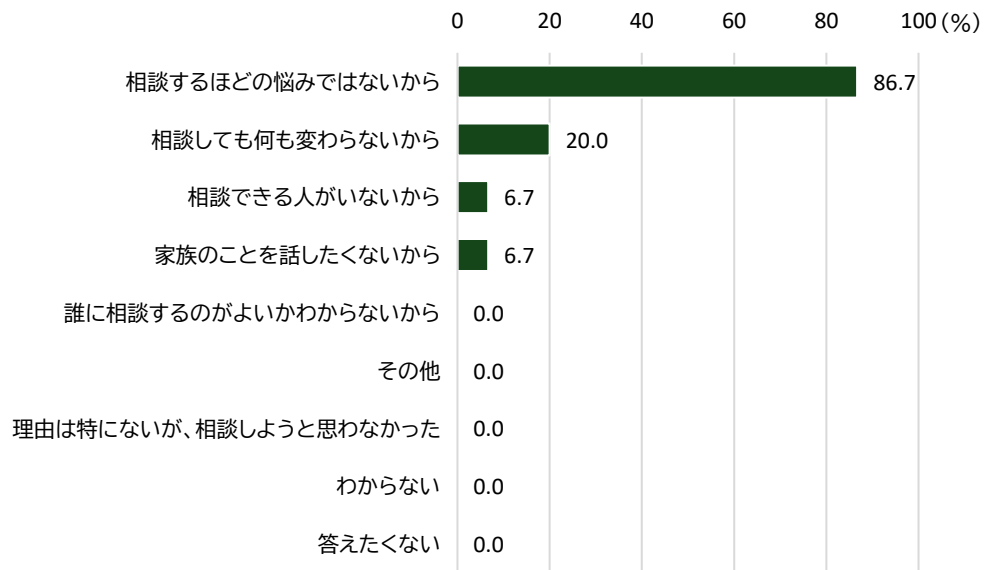


(n=63)

② 相談していない理由

- ・上記①で「誰にも相談したことがない」と回答した方に、その理由を聞いた。
- ・その結果、「相談するほどの悩みではないから」が86.7%で最も多く、次いで「相談しても何も変わらないから」の20.0%と続く。

図表 2-4-2 相談しない理由（複数回答）

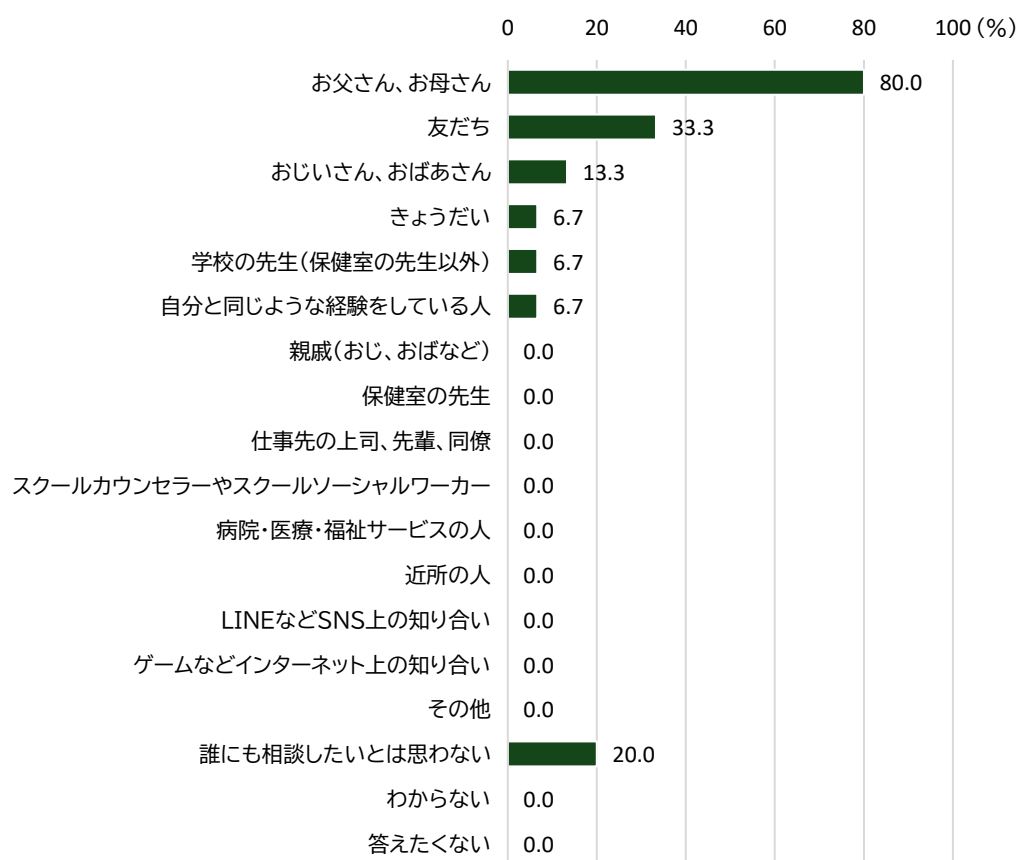


(n=15)

③ 相談したい相手

- ・同様に、上記①で「誰にも相談したことがない」と回答した方に、相談するとしたら誰に相談するか聞いたところ、「お父さん、お母さん」が80.0%で最も多く、次いで「友だち」の33.3%、「おじいさん、おばあさん」の13.3%と続く。
- ・他方、「誰にも相談したくない」という回答も20.0%みられた。

図表 2-4-3 相談したい相手（複数回答）

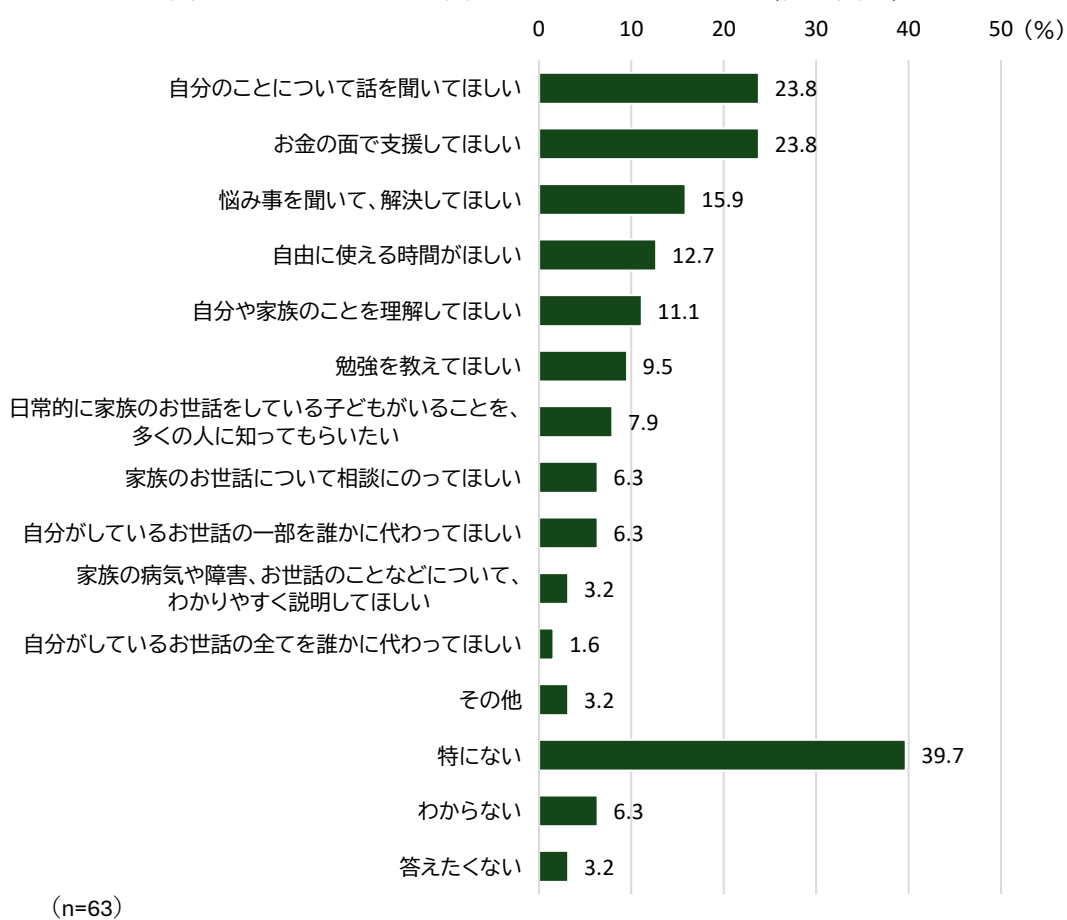


(n=15)

(2) 学校や周囲の大人に対する期待

- ・学校や周りの大人にしてもらいたいことを聞いたところ、「特にない」が最も多く4割を占めた。
- ・具体的な回答の中で多かったのは、「自分のことについて話を聞いてほしい」と「お金の面で支援してほしい」の23.8%、「悩み事を聞いて、解決してほしい」の15.9%、「自由につかえる時間がほしい」の12.7%、「自分や家族のことを理解してほしい」の11.1%と続く。

図表 2-4-4 学校や周囲の大人に期待すること（複数回答）



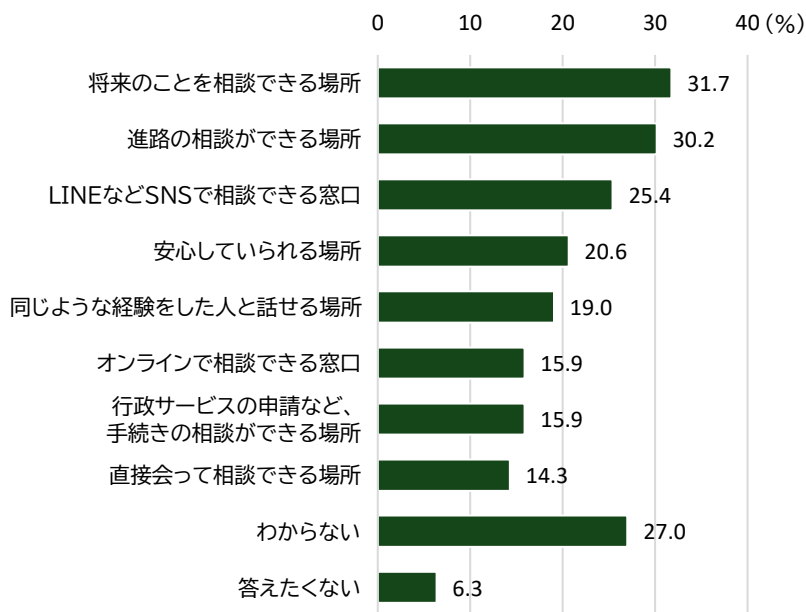
- ・「その他」を選んだ方に、その内容を具体的に書いてもらったところ（自由記述）、以下の回答が得られた。

- こちらが助けを求めた時のみ動いて欲しい。
 - 高校生でも、自分の意志でどこか家族と離れて過ごせる場所が欲しい。放課後に少しいるだけではなくて、1週間くらい過ごせるような宿泊施設のようなものが欲しい。家族から干渉されず、補導されてしまうようなことがない場所でゆっくり自分のことをしたい。大人に守られている立場であるとはいえ、その守られるべき大人である家族といて辛いのでから少しくらいそういう期間が欲しい。

(3) 希望する相談窓口・場所

- ・「あったらいいな」と思う相談窓口や場所について聞いたところ、「将来のことを相談できる場所」が31.7%で最も多く、次いで「進路の相談ができる場所」の30.2%、「LINEなどSNSで相談できる窓口」の25.4%、「安心していられる場所」の20.6%と続く。

図表 2-4-5 希望する相談窓口・場所（複数回答）



(n=63)

- ・「安心していられる場所」を選択した方に、その内容を具体的に書いてもらったところ（自由記述）、以下の回答が得られた。

- 何も干渉されず、それぞれが好きな自分時間を過ごせる場所。静かだけど温もりのある場所。
- 家族と話さなくてすむ場所。家族との関係が全くない場所。
- 家族の世話をしなくてもよいような場所。
- 逃げることができる居場所。
- 自分が話したことを絶対に母に知られないような場所。
- 全く同じ意見や考えていることも同じ人の専用教室相談みたいところがあれば安心して生活できるのではないかと思います。
- 高校生向けで話を聞いてくれたり、勉強を教えてくれる大人がいる集会所がほしい(最近、近所の集会所がなくなったりしているから)。
- 悩みとかを考えずに安心して楽しく過ごせるところ。今思っていることを話せるところ。
- 誰にも邪魔されない個人的な空間。
- ほっこり休まる場所。
- 子守りせずに遊べるところ。

(4) その他、悩みや気になること

- ・悩みや気になることを聞いたところ、下記のような事柄が挙げられた（自由記述）。

●家族への思い

- ・たまに祖母にしつこくお願いされたら面倒くさくなって怒ってしまうけれど、その後すぐに怒ってしまったことを後悔すること。
- ・自分以外で兄の世話をしている家族が大変そう。
- ・父親のお酒依存をやめて家族の時間を大切にしたい。
- ・私は全く生活に影響がなく、ただどんどん動かなくなっていく父を助けるという気持ちです。その分自分が大人になるにつれできることも増えますので。父のことをとても尊敬しています。しかしたまにその事を忘れそうになって今まで出来ていたことが、出来なくなっていくことにイライラしますが、その度に父と他愛もない会話をして、その気持ちを思い出します。母が基本的にとっても忙しい仕事をしながら家事をやってくれますが、母のようにお世話をする人に支援があればいいなと思います。

●逃げ場がほしい

- ・私がお家事をやるのは当たり前みたいになって嫌だ。
- ・母と2人きりになるのが怖くて、できる限り傍に人がいて欲しかった。
- ・無茶なことだとは分かりつつも、どうしても夜中家に居たくないことがあるので、その際に行ける場所があればいいのと思います(未成年なので難しいとは思いますが)。

●行政や社会へ

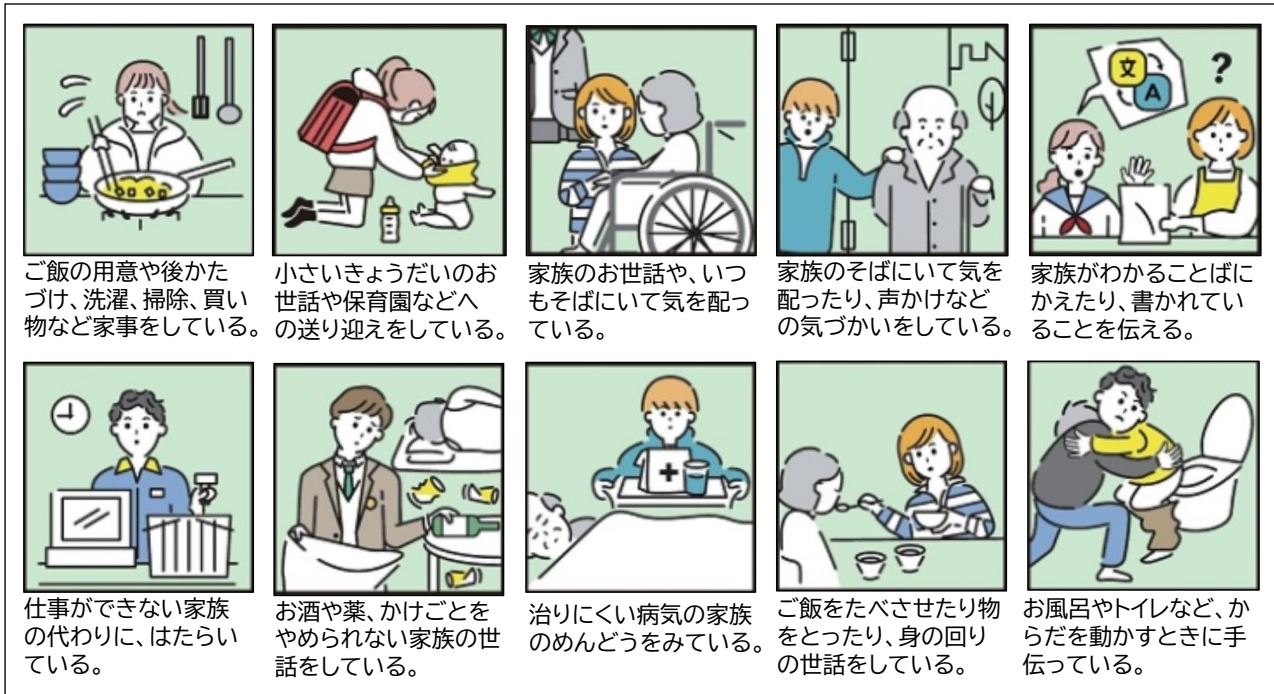
- ・要介護認定の人や、高齢の人向けの携帯電話を作って欲しい（←夜中など何回も電話が来るのが家族にとってきついから）。もっと金銭面での支援をお願いしたい。介護などに必要な物を支援か、安くするか、ドラッグストアとかに色々なサイズや種類で売って欲しい。
- ・行政には、きょうだい児が障害のある兄弟の面倒をみなくても大丈夫な社会の仕組みを早く作ってほしい。親は面倒みなくて大丈夫だと言うけど、施設も減ってきてグループホームも軽度の人しか入れないのに、弟はいったいどうなるのかと親が言っていて、私も心配でたまに苦しくなる。弟のせいで結婚できないかもしれないし、仕事と子育てと弟の世話を全部やれるだろうかと不安になる。こんなに大変なのに、友達には話せないし孤独感を感じる。でも他人と話し合っただけで慰め合おうとは思えない。ただ、早急に社会の仕組みを、障害をもつ人のためによりよく変えてほしい。
- ・治療のお金を支援して欲しい。

5. ヤングケアラーについて

(1) 「ヤングケアラー」としての認識

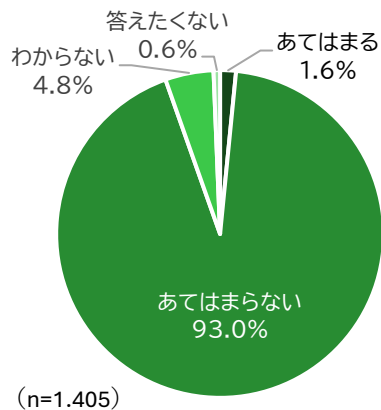
- ・下記のとおり、ヤングケアラーの定義（お世話の内容）を調査票上で示したうえで、あらためてご自身が「ヤングケアラー」にあてはまるか聞いたところ、「あてはまる」が1.6%、「あてはまらない」が93.0%、「わからない」が4.8%、「答えたくない」が0.6%となった。

ヤングケアラーとは、「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者」(こども家庭庁ホームページより)とされています



※こども家庭庁ホームページを参考に、本調査用に作成しています。

図表 2-5-1 ヤングケアラーとしての認識



- ・「お世話をしている家族の有無」（表側）と「ヤングケアラーとしての認識」（表頭）をクロス集計したのが下表である。
- ・その結果をみると、お世話をしている家族が「いる」、そして自分がヤングケアラーに「あてはまる」と回答したのは11人であった。また、お世話をしている家族が「いる」、そして自分がヤングケアラーにあてはまるかどうか「わからない」または「答えたくない」としたのは、それぞれ21人と2人であった。これらを合わせた34人（全体の1,405人からみると2.4%）は、ヤングケアラーである可能性が高いグループといえる。

図表 2-5-2 お世話をしている家族の有無とヤングケアラーとしての認識

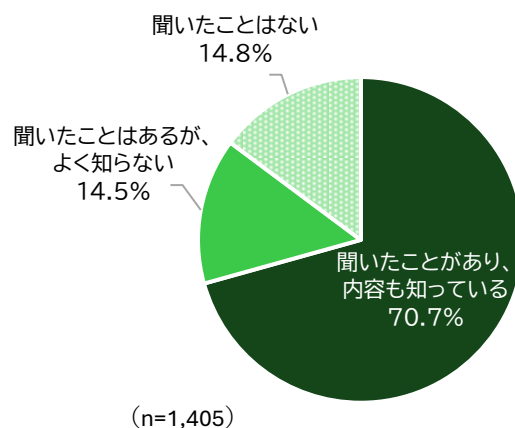
	合計		あてはまる		あてはまらない		わからない		答えたくない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
いる	63	4.5	11	50.0	29	2.2	21	31.3	2	22.2
いない	1,342	95.5	11	50.0	1,278	97.8	46	68.7	7	77.8
合計	1,405	100.0	22	100.0	1,307	100.0	67	100.0	9	100.0

(2) 「ヤングケアラー」の認知

① 「ヤングケアラー」の認知

- ・「ヤングケアラー」について「聞いたことがあり、内容も知っている」は70.7%、「聞いたことはあるが、よく知らない」は14.5%、「聞いたことはない」は14.8%だった。

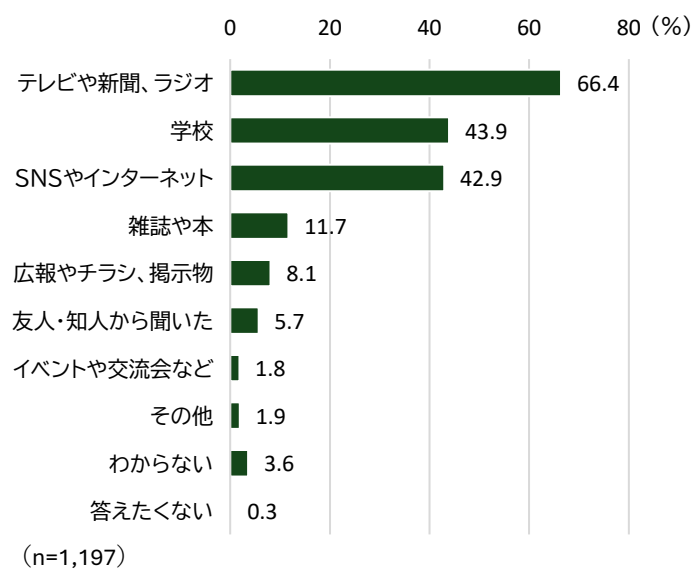
図表 2-5-3 「ヤングケアラー」という言葉の認知



② 「ヤングケアラー」を知った経緯

- ・上記①において、ヤングケアラーについて「聞いたことがあり、内容も知っている」または「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方に、どこで知ったのか聞いた。
- ・「テレビや新聞、ラジオ」が66.4%で最も多く、次いで「学校」の43.9%、「SNSやインターネット」の42.9%と続く。
- ・「その他」の回答としては、「家族（親など）から」や「社会科のレポート」、「塾」、「大学の公開授業」、「クイズゲーム」、「ドラマ」が挙げられた。

図表 2-5-4 「ヤングケアラー」を知った経緯



Ⅲ. クロス集計結果

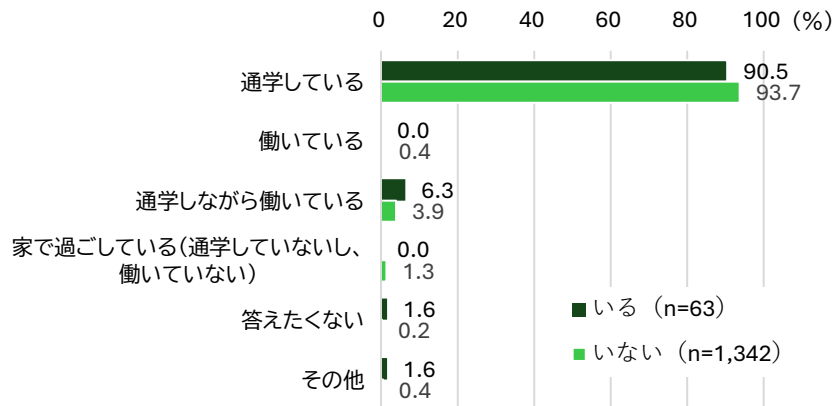
1. 家族のお世話をしている方の特徴

以下では、お世話をしている家族が「いる」と回答した方と「いない」と回答した方の回答を比較し、お世話をしている家族がいる方（ヤングケアラーである可能性が高い方）の特徴を把握する。

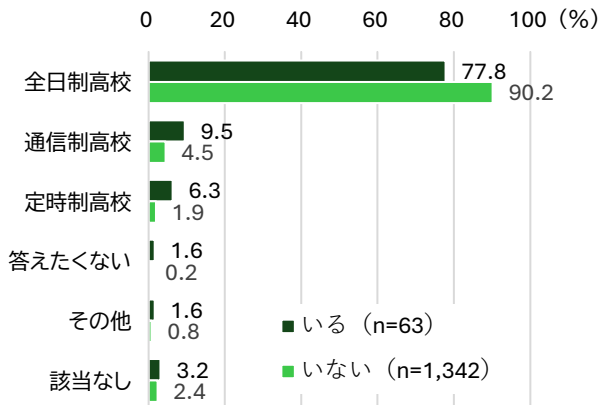
(1) 通学・通勤状況

- ・通学・通勤状況や学年に大きな差はみられなかった。
- ・通っている学校の種類をみると、お世話をしている家族が「いる」と回答した方は、「全日制高校」の割合が低く、「通信制高校」や「定時制高校」の割合が比較的高い。

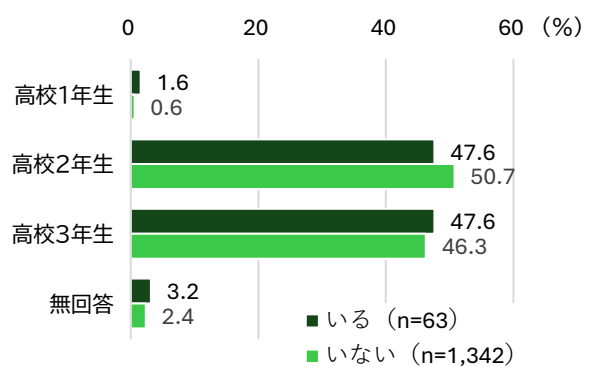
図表 3-1-1 通学・通勤状況



図表 3-1-2 通っている学校の種類



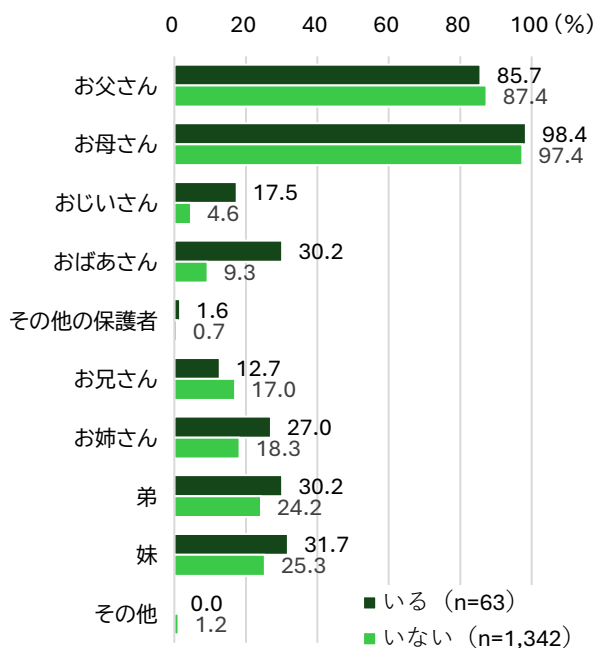
図表 3-1-3 学年



(2) 同居家族

- ・同居家族をみると、お世話をしている家族が「いる」と回答した方は、「おじいさん」や「おばあさん」、「お姉さん」や「弟」、「妹」と同居している割合（三世代家族の割合）が高い。

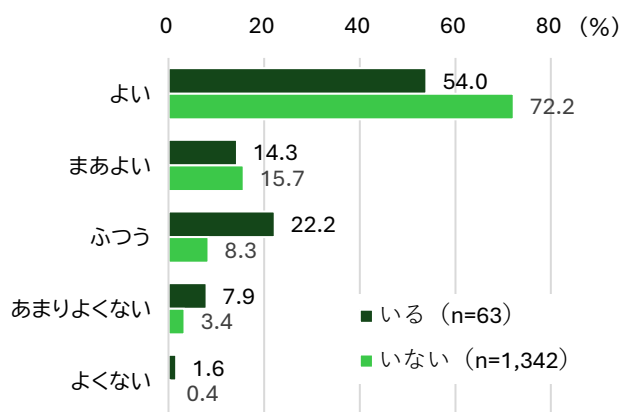
図表 3-1-4 同居家族（複数回答）



(3) 健康状態

- ・本人の健康状態をみると、お世話をしている家族が「いる」と回答した方は、「いない」と回答した方よりも、「よい」の割合が18.2ポイント低く、54.0%となっている。

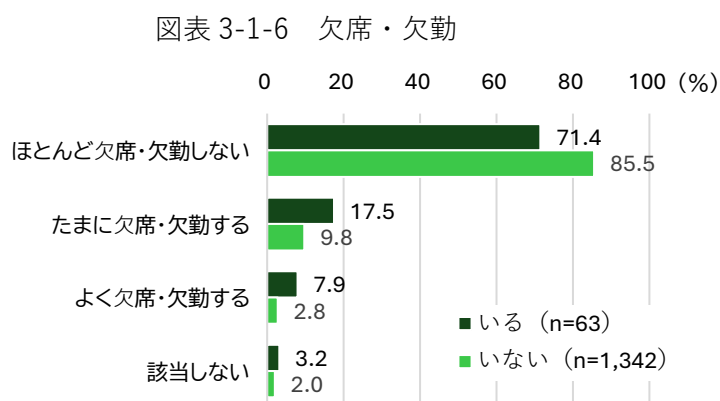
図表 3-1-5 健康状態



(4) 学校や仕事の通学・通勤状況

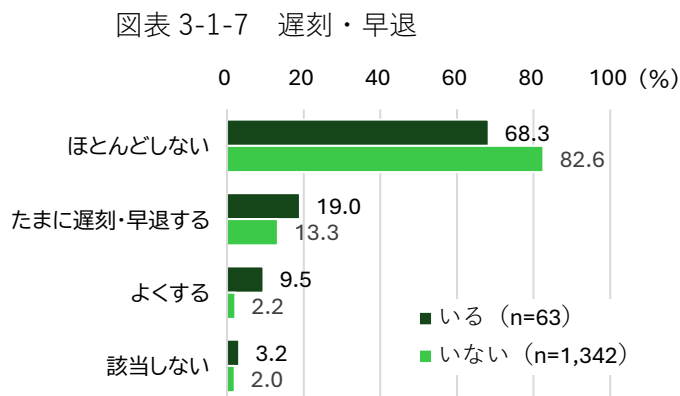
① 学校や仕事の欠席・欠勤状況

・学校や仕事の欠席・欠勤状況をみると、お世話をしている家族が「いる」と回答した方は、「いない」と回答した方よりも、「ほとんど欠席・欠勤しない」の割合が低く71.4%となっている。他方、「たまに欠席・欠勤する」(17.5%)と「よく欠席する」(7.9%)の割合が高くなっている。



② 学校や仕事への遅刻・早退状況

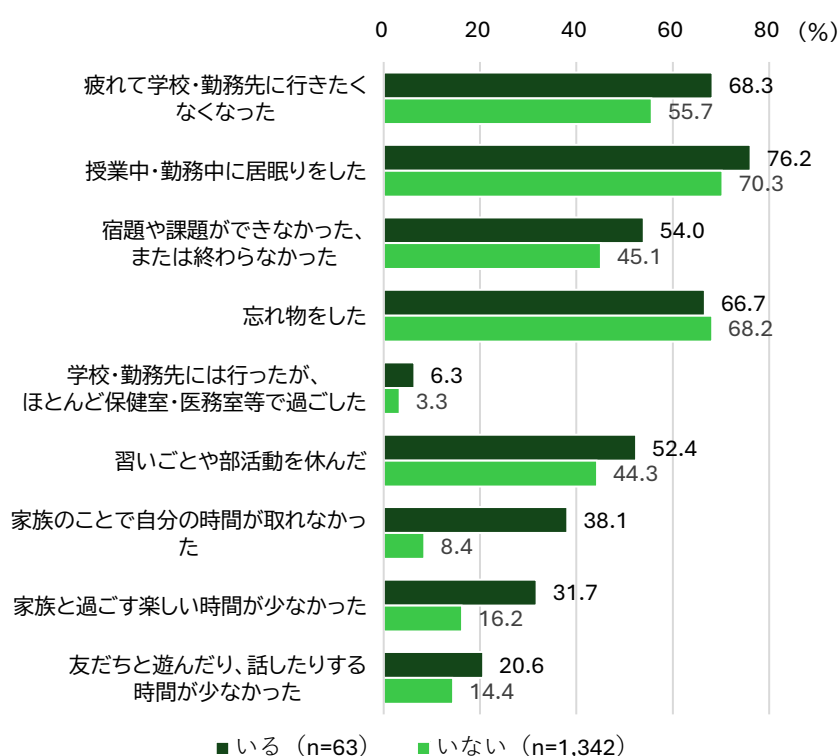
・学校や仕事への遅刻・早退状況をみると、お世話をしている家族が「いる」と回答した方は、「いない」と回答した方よりも、「ほとんどしない」の割合が低く68.3%となっている。他方、「たまに遅刻・早退する」(19.0%)と「よくする」(9.5%)の割合が高くなっている。



(5) 学校や仕事での生活

- ・ふだんの生活の中であてはまることをみると、「忘れ物をした」以外の項目については、お世話をしている家族が「いる」と回答した方の割合が高くなっている。なかでも差が大きいのは「家族のことで自分の時間が取れなかった」(その差は 29.7 ポイント)や「家族と過ごす楽しい時間が少なかった」(同 15.5 ポイント)、「疲れて学校・勤務先に行きたくなくなった」(同 12.6 ポイント) などであった。

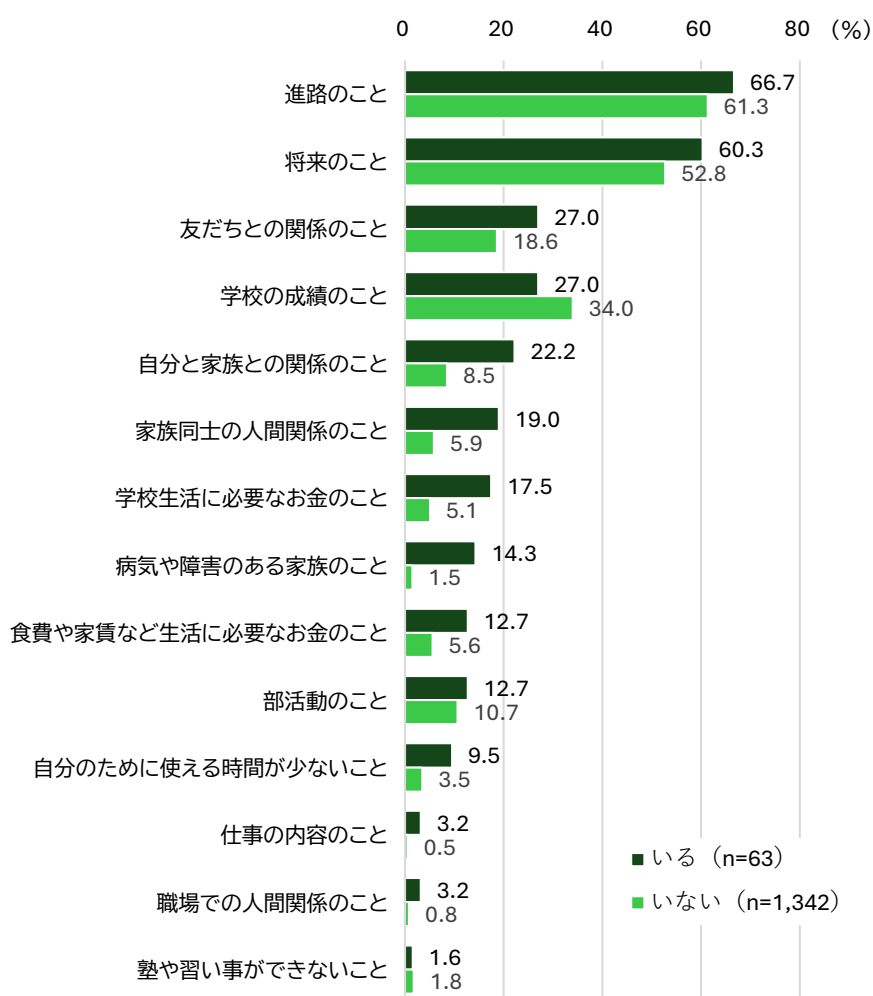
図表 3-1-8 ふだんの生活の中であてはまること
(「あった」と回答した割合)



(6) 悩み事や困り事

- ・現在の悩み事や困り事をみると、「学校の成績のこと」と「塾や習い事ができないこと」以外の項目については、お世話をしている家族が「いる」と回答した方の割合が高くなっている。なかでも差が大きいのは「自分と家族との関係のこと」（その差は 13.7 ポイント）や「家族同士の人間関係のこと」（同 13.1 ポイント）、「病気や障害のある家族のこと」（同 12.8 ポイント）、「学校生活に必要なお金のこと」（同 12.4 ポイント）など、家族間の人間関係や生活費の面だった。

図表 3-1-9 現在の悩み事や困り事（複数回答）

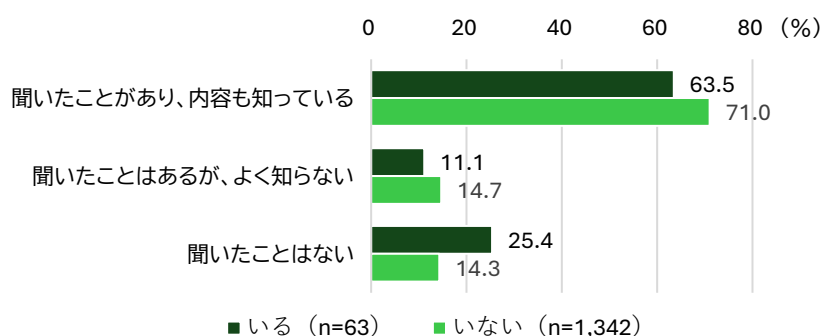


(7) 「ヤングケアラー」の認知

① 「ヤングケアラー」の認知

- ・「ヤングケアラー」については、お世話をしている家族が「いる」と回答した方がほうが「聞いたことはない」の割合が高く 25.4%であった。

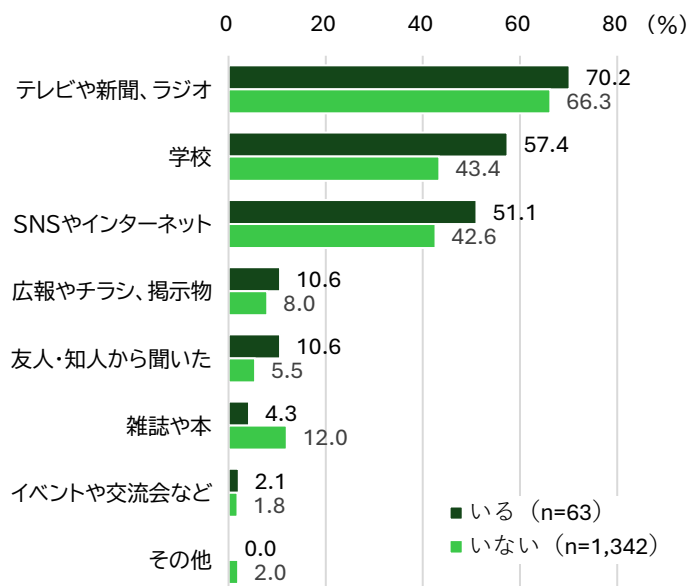
図表 3-1-10 「ヤングケアラー」という言葉の認知



② 「ヤングケアラー」を知った経緯

- ・「ヤングケアラー」を知った経緯をみると、お世話をしている家族が「いる」と回答した方がほうが「テレビや新聞、ラジオ」や「学校」、「SNS やインターネット」の割合が高く、特に「学校」と「SNS やインターネット」では、その差が大きくなっている（「学校」は 14.0 ポイント、「SNS やインターネット」は 8.5 ポイント）。

図表 3-1-11 「ヤングケアラー」を知った経緯



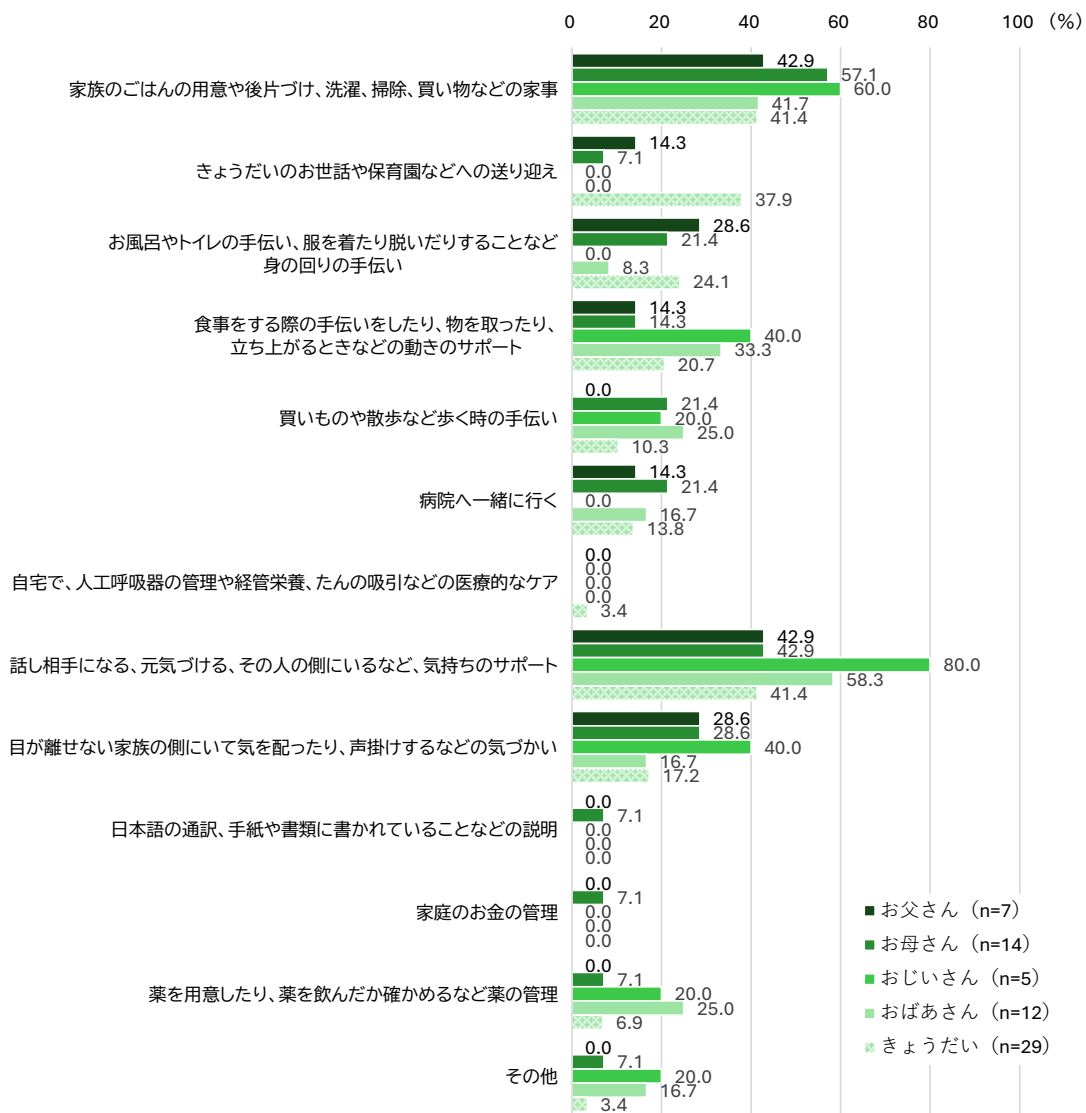
2. 設問間（項目間）クロス集計

以下では、設問間（項目間）クロス集計を行った中で、特徴・傾向がみられた集計結果について掲載する。なお、回答数が少ないものもあるため、参考扱いとする。

（1）お世話をしている家族の対象別にみたお世話の内容

- ・お世話をしている家族の対象別にお世話の内容をみると、「おじいさん」と「おばあさん」の場合は、「食事をする際の手伝いをしたり、物を取ったり、立ち上がる時などの動きのサポート」や「話し相手になる、元気づける、その人の側にいるなど、気持ちのサポート」の割合が高く、「きょうだい」の場合には「きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え」や「お風呂やトイレの手伝い、服を着たり脱いだりすることなど身の回りの手伝い」の割合が高くなる。

図表 3-2-1 お世話をしている家族 × お世話の内容



(2) お世話の協力者と自由に使える時間

① お世話を家族やほかの誰かに任せることと自由に使える時間の関係

- ・お世話をすることを家族やほかの誰かに任せられることができるかを表側に、自由に使える時間を表頭にして、その関係性をみたところ、ほかの誰かに任せることが「できる」と回答した方は、「自由に使える時間は十分ある」の割合が高くなる。

図表 3-2-2 お世話を家族やほかの誰かに任せること×自由に使える時間

	合計		自由に使える時間は十分にある		自由に使える時間が無くなることもある		自由に使える時間はほとんど無い		わからない		答えたくない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
できる	44	100.0	32	72.7	11	25.0	-	-	1	2.3	0	0.0
できない	8	100.0	2	25.0	6	75.0	-	-	0	0.0	0	0.0
わからない	7	100.0	3	42.9	1	14.3	-	-	3	42.9	0	0.0
答えたくない	4	100.0	0	0.0	0	0.0	-	-	0	0.0	4	100.0
合計	63	100.0	37	58.7	18	28.6	0	0.0	4	6.3	4	6.3

② お世話の協力者の有無と自由に使える時間の関係

- ・家族へのお世話を一人または誰かと一緒にするかを表側に、自由に使える時間を表頭にして、その関係性をみたところ、「誰かと一緒にすることが多い」と回答した方は、「自由に使える時間は十分ある」の割合が高くなる。

図表 3-2-3 お世話の協力者の有無×自由に使える時間

	合計		自由に使える時間は十分にある		自由に使える時間が無くなることもある		自由に使える時間はほとんど無い		わからない		答えたくない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
いつも一人でしている	6	100.0	3	50.0	2	33.3	-	-	0	0.0	1	16.7
ほとんど一人でしている	7	100.0	3	42.9	4	57.1	-	-	0	0.0	0	0.0
半分くらいは誰かと一緒にしている	12	100.0	6	50.0	5	41.7	-	-	0	0.0	1	8.3
誰かと一緒にすることが多い	28	100.0	21	75.0	5	17.9	-	-	1	3.6	1	3.6
わからない	7	100.0	3	42.9	2	28.6	-	-	2	28.6	0	0.0
答えたくない	3	100.0	1	33.3	0	0.0	-	-	1	33.3	1	33.3
合計	63	100.0	37	58.7	18	28.6	0	0.0	4	6.3	4	6.3

巻末資料
(高校生世代向けアンケート調査票)

ヤングケアラーに関するアンケート調査(高校生世代)

I. 基本情報

問1 あなたの年齢を教えてください。(令和6年4月1日現在の年齢を1つ選ぶ)

1. 16歳
2. 17歳

問2 あなたの今の状況を教えてください。(1つ選ぶ)

1. 通学している
2. 働いている
3. 通学しながら働いている
4. 家で過ごしている(通学していないし、働いていない)
5. 答えたくない
6. その他

問2で「1.通学している」または「3.通学しながら働いている」と答えた人は、下の問3と問4に答えてください。

問3 あなたの通っている学校を教えてください。(1つ選ぶ)

1. 全日制高校
2. 通信制高校
3. 定時制高校
4. 答えたくない
5. その他

問4 あなたの学年を教えてください。(1つ選ぶ)

1. 高校1年生
2. 高校2年生
3. 高校3年生

問 2 で「2. 働いている」または「3.通学しながら働いている」と答えた人は、下の問 5 に答えてください。

問 5 あなたの働き方を教えてください。(1 つ選ぶ)

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| 1. 正規雇用 (正社員) | 4. わからない |
| 2. 非正規雇用 (派遣社員・契約社員・パート・アルバイト) | 5. 答えたくない |
| 3. 自営業 (家業の手伝い、会社経営など) | |

問 6 あなたが、一緒に住んでいるのは誰ですか。(あてはまるもの全てを選ぶ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. お父さん | 7. お姉さん → () 人 |
| 2. お母さん | 8. 弟 → () 人 |
| 3. おじいさん | 9. 妹 → () 人 |
| 4. おばあさん | 10. その他 () |
| 5. その他の保護者 | 11. わからない |
| 6. お兄さん → () 人 | 12. 答えない |

問 7 あなたの健康状態を教えてください。(1 つ選ぶ)

- | | |
|---------|------------|
| 1. よい | 4. あまりよくない |
| 2. まあよい | 5. よくない |
| 3. ふつう | |

Ⅱ. ふだんの生活について

問 8 学校や仕事への通学・通勤状況等について教えてください。(1 つ選ぶ)

1. ほとんど欠席・欠勤しない
2. たまに欠席・欠勤する
3. よく欠席・欠勤する

問 9 学校や仕事への遅刻・早退状況等について教えてください。(1 つ選ぶ)

1. ほとんどしない
2. たまに遅刻・早退する
3. よくする

問 10 ふだんの生活において、次のようなことがありましたか。(項目ごとにあてはまるものを 1 つ選ぶ)

	あった	なかった	答えたくない	該当しない
疲れて学校・勤務先に行きたくなくなった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
授業中・勤務中に居眠りをした	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
宿題や課題ができなかった、または終わらなかった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
忘れ物をした	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学校・勤務先には行ったが、ほとんど保健室・医務室等で過ごした	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
習いごとや部活動を休んだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
家族のことで自分の時間が取れなかった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
家族と過ごす楽しい時間が少なかった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
友達と遊んだり、話したりする時間が少なかった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 11 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまるもの全てを選ぶ)

1. 友だちとの関係のこと
2. 学校の成績のこと
3. 進路のこと
4. 将来のこと
5. 部活動のこと
6. 塾や習い事ができないこと
7. 学校生活に必要なお金のこと
8. 職場での人間関係のこと
9. 仕事の内容のこと
10. 食費や家賃など生活に必要なお金のこと
11. 自分と家族との関係のこと
12. 家族同士の間人間関係のこと
13. 病気や障害のある家族のこと
14. 自分のために使える時間が少ないこと
15. その他 ()
16. 特になし 17. わからない 18. 答えたくない

問 12 悩みごとや困りごとについて、相談にのってくれたり、話を聞いてくれたりする人がいますか。

(1つ選ぶ)

1. いる 4. わからない
2. いない 5. 答えたくない
3. 誰にも相談や話をしたくない

Ⅲ. 家庭や家族のことについて

問 13 家族の中に、あなたが、お世話をしている人はいますか。(1 つ選ぶ)

1. いる → 問 14 に進んでください。
2. いない → 問 35 に進んでください。

「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをする事です。

(例)

- 兄弟のお世話や保育園などへの送り迎え
- ごはんを食べさせてあげる、物を取ってあげる、立ち上がる時などの手伝い
- 買いものや病院へ行く時など、歩きやすいようにする手伝い
- 家族の話を聞いてあげる、元気づける、その人の側にいてあげる
- 危ないことがないように、いつも家族を見ていたり、声を掛けたりする
- 薬を用意したり、薬を飲んだか確かめたりする など

※「お世話」にはペットのお世話は含まれません

問 14 あなたが、お世話をしている家族はどなたですか。(あてはまるもの全てを選ぶ)

1. お父さん
2. お母さん
3. おじいさん
4. おばあさん
5. きょうだい
6. その他 ()
7. わからない
8. 答えたくない

問 15 お世話を必要としている人の状況を教えてください。(あてはまるもの全てを選ぶ)

1. 若い (小さい) から
2. お年寄り (年齢が 65 歳以上) だから
3. 認知症だから (物を覚えたり考えたりする力が弱くなって、今までどおりに生活できなくなってしまっている)
4. 身体障害があるから (手足や聴覚・視覚など身体的に不自由があり、日常生活に困難が生じるなど)
5. 発達障害や知的障害があるから (文章を読んで理解することが難しかったり、おつりのやりとりなど計算が苦手だったりするなど)
6. 心の病気があるから (気持ちが落ちこんでいてずっと寝ている、すぐに怒ったり泣いたりするなど)
7. 依存症があるから (お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題を抱かえているなど)
8. その他の病気のため、日常生活に支障があるから
9. 怪我のため、日常生活に支障があるから
10. 日本語が苦手なため
11. その他 ()
12. わからない
13. 答えたくない

問 16 あなたが、ふだんしている家族のお世話は、どのようなことですか。

(お世話をしている人が何人かいる場合には、あてはまるもの全てを選んでください)

1. 家族のごはんの用意や後片づけ、洗濯、掃除、買い物などの家事
2. きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え
3. お風呂やトイレの手伝い、服を着たり脱いだりすることなど身の回りの手伝い
4. 食事をする際の手伝いをしたり、物を取ったり、立ち上がる時などの動きのサポート
5. 買い物や散歩など歩く時の手伝い
6. 病院へ一緒に行く
7. 自宅で、人工呼吸器の管理や経管栄養、たんの吸引などの医療的なケア
8. 話し相手になる、元気づける、その人の側そばにいるなど、気持ちのサポート
9. 目が離せない家族の側そばにいて気を配ったり、声掛けするなどの気づかい
10. 日本語の通訳、手紙や書類に書かれていることなどの説明
11. 家庭のお金の管理
12. 薬を用意したり、薬を飲んだか確かめるなど薬の管理
13. その他
14. わからない
15. 答えたくない

問 17 家族へのお世話は一人でしていますか。それとも、誰かと一緒にしていますか。(もっともあてはまるものを1つ選ぶ)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. いつも一人でしている | 4. 誰かと一緒にすることが多い |
| 2. ほとんど一人でしている | 5. わからない |
| 3. 半分くらいは誰かと一緒にしている | 6. 答えたくない |

問 17 で「3. 半分くらいは誰かと一緒にしている」または「4. 誰かと一緒にすることが多い」と答えた人は、下の問 18 に答えてください。

問 18 お世話は誰と行っていますか。(あてはまるもの全てを選ぶ)

- | | |
|----------|-------------------------------------|
| 1. お父さん | 6. 親戚 <small>しんせき</small> (おじ、おばなど) |
| 2. お母さん | 7. その他 () |
| 3. おじいさん | 8. わからない |
| 4. おばあさん | 9. 答えたくない |
| 5. きょうだい | |

問 19 お世話を必要としている人は、病院に通ったり、家まで医者に来てもらったりしていますか。

(1つ選ぶ)

- | | |
|--------|-----------|
| 1. はい | 3. わからない |
| 2. いいえ | 4. 答えたくない |

問 20 お世話を必要としている人は、福祉サービス(ホームヘルパー、デイサービス、移動支援サービス、送迎支援など)を利用していますか。(1 つ選ぶ)

1. はい
2. いいえ
3. わからない
4. 答えたくない

問 20 で「2. いいえ」と答えた人は、下の問 21 に教えてください。

問 21 お世話を必要としている人に対して、福祉サービスを利用していない理由を教えてください。(あてはまるもの全てを選ぶ)

1. 本人が嫌がるから
2. 家族が福祉サービスの利用を嫌がるから
3. 家族で面倒を見たいから
4. そもそも福祉サービスを利用するような状況ではないから
5. 利用したい福祉サービスがないから
6. 福祉サービスのことを知らないから
7. 福祉サービスの申請方法がわからないから
8. 福祉サービスの利用料を支払う金銭的余裕がないから
9. その他 ()
10. 理由は特にないが、利用しようと思わなかった
11. わからない
12. 答えたくない

問 22 あなたは、だいたい何歳くらいから、お世話をしていますか。

1. わかる
→ () 歳くらいから
2. わからない
3. 答えたくない

問 23 あなたは、どのくらいお世話をしていると感じますか。(1 つ選ぶ)

1. ほぼ毎日
2. 週に 3～5 日
3. 週に 1～2 日
4. もっと少ない
5. わからない
6. 答えたくない

問 24 あなたは、平日(学校・仕事がある日)と休日(学校・仕事がない日)に、それぞれ何時間くらいお世話をしていますか。日によって違う場合は、この 1 ヶ月で一番長かった日の時間を教えてください。

1. わかる
→ 平日(学校・仕事がある日) : 1 日 () 時間くらい
→ 休日(学校・仕事がない日) : 1 日 () 時間くらい
2. わからない
3. 答えたくない

問 25 お世話をしていることで、あなた自身が自由に使える時間(友だちと遊んだり部活動をするなど)が無いと感じることはありますか。(1 つ選ぶ)

1. 自由に使える時間は十分にある
2. 自由に使える時間が無くなることもある
3. 自由に使える時間はほとんど無い
4. わからない
5. 答えたくない

問 26 お世話をすることを家族や他の誰かに任せることはできますか。(1 つ選ぶ)

1. できる
2. できない
3. わからない
4. 答えたくない

問 27 家族のお世話をすることで、次のようなことは、あなたにどのくらいあてはまりますか。(あてはまるもの全てを選ぶ)

1. 寝る時間がない
2. 眠りづらい
3. 寝ている時に何度も目が覚める
4. 休む時間がない
5. いつも疲れている
6. やる気が出ない
7. いつも家族のことが心配
8. 家にいるとつらいと感じる
9. 自分の将来に不安を感じる
10. 相談できる人がいない
11. 自分だけがお世話をすることを不満に思う
12. 自分のことより家族の世話をする
13. 自分がやらなければならないと思う
14. その他
15. 特にない
16. わからない
17. 答えたくない

問 28 あなたの進路を考える上で、家族のお世話をしていることによる影響はありましたか。(もっともあてはまるものを1 つ選ぶ)

1. 進学や就職をあきらめ、お世話を専念しようと考えている、またはすでにそうした
2. 進学をあきらめ、就職を考えている、またはすでにそうした
3. 進学先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている、またはすでにそうした
4. 就職先は、自宅から通えるところを選択しようと考えている、またはすでにそうした
5. その他 ()
6. 特に進路について考えるにあたって影響は受けていない
7. わからない
8. 答えたくない

問 29 家族のお世話がなければやりたかったこと、あきらめてしまったことはありますか。また、どういう環境や状況になれば、あなたのやりたいことが実現すると思いますか。あなたの思いを自由に書いてください。

問30 家族のお世話をすることについて、次のようなことを感じていますか。(あてはまるもの全てを選ぶ)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. やりがいを感じる | 8. 精神的につらい |
| 2. 楽しい | 9. 時間の余裕がない |
| 3. 充実している | 10. その他 |
| 4. 役に立ててうれしい | 11. 特に何も感じていない |
| 5. 家事が上達してうれしい | 12. わからない |
| 6. 家族と一緒にいる時間が持ててうれしい | 13. 答えたくない |
| 7. 体力的につらい | |

問 31 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて、誰かに相談したことはありますか。(あてはまるもの全てを選ぶ)

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. お父さん、お母さん | 10. 病院・医療・福祉サービスの人 |
| 2. おじいさん、おばあさん | 11. 近所の人 |
| 3. きょうだい | 12. LINE など SNS 上の知り合い |
| 4. 親戚 (おじ、おばなど) | 13. ゲームなどインターネット上の知り合い |
| 5. 友だち | 14. 自分と同じような経験をしている人 |
| 6. 学校の先生 (保健室の先生以外) | 15. その他 () |
| 7. 保健室の先生 | 16. 誰にも相談したことがない |
| 8. 仕事先の上司、先輩、同僚 | 17. わからない |
| 9. スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー | 18. 答えたくない |

問 31 で「16. 誰にも相談したことがない」と答えた人は、下の①と②に教えてください。

① 相談していない理由を教えてください。(あてはまるもの全てを選ぶ)

1. 相談するほどの悩みではないから
2. 誰に相談するのがよいかわからないから
3. 相談できる人がいないから
4. 家族のことを話したくないから
5. 相談しても何も変わらないから
6. その他 ()
7. 理由は特にないが、相談しようと思わなかった
8. わからない
9. 答えたくない

② あなたが、お世話をしている家族のことや、お世話の悩みを相談するとしたら、誰に相談しますか。(あてはまるもの全てを選ぶ)

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. お父さん、お母さん | 10. 病院・医療・福祉サービスの人 |
| 2. おじいさん、おばあさん | 11. 近所の人 |
| 3. きょうだい | 12. LINE など SNS 上の知り合い |
| 4. 親戚 (おじ、おばなど) | 13. ゲームなどインターネット上の知り合い |
| 5. 友だち | 14. 自分と同じような経験をしている人 |
| 6. 学校の先生 (保健室の先生以外) | 15. その他 () |
| 7. 保健室の先生 | 16. 誰にも相談したいとは思わない |
| 8. 仕事先の上司、先輩、同僚 | 17. わからない |
| 9. スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー | 18. 答えたくない |

問 32 学校や周りの大人にしてもらいたいことはありますか。(あてはまるもの全てを選ぶ)

1. 自分のことについて話を聞いてほしい
2. 自分や家族のことを理解してほしい
3. 家族のお世話について相談にのってほしい
4. 悩み事を聞いて、解決してほしい
5. 日常的に家族のお世話をしている子どもがいることを、多くの人に知ってもらいたい
6. 家族の病気や障害、お世話のことなどについて、わかりやすく説明してほしい
7. 自分がしているお世話の一部を誰かに代わってほしい
8. 自分がしているお世話の全てを誰かに代わってほしい
9. 自由に使える時間がほしい
10. 勉強を教えてほしい
11. お金の面で支援してほしい
12. その他
13. 特にない
14. わからない
15. 答えたくない

「12. その他」を選んだ人は、その内容を具体的に教えてください。

問 33 次の中で、あったらいいなと思うことはありますか。(あてはまるもの全てを選ぶ)











1. オンラインで相談できる窓口
2. 直接会って相談できる場所
3. LINE など SNS で相談できる窓口
4. 同じような経験をした人と話せる場所
5. 安心していられる場所
6. 進路の相談ができる場所
7. 将来のことを相談できる場所
8. 行政サービスの申請など、手続きの相談ができる場所
9. わからない
10. 答えたくない

「5.安心していられる場所」を選んだ人は、その内容を具体的に教えてください。

問 34 そのほか、家族のことやお世話の悩み、こうしてほしいと思うことや気になることなどがあれば、自由に書いてください。

IV. ヤングケアラーについて

ヤングケアラーとは、「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者」（こども家庭庁ホームページより）とされています。

				
<p>ご飯の用意や後かたづけ、洗濯、掃除、買い物など家事をしている。</p>	<p>小さいきょうだいのお世話や保育園などへの送り迎えをしている。</p>	<p>家族のお世話や、いつもそばにいて気を配っている。</p>	<p>家族のそばにいて気を配ったり、声かけなどの気づかいをしている。</p>	<p>家族がわかることばにかえたり、書かれていることを伝える。</p>
				
<p>仕事ができない家族の代わりに、はたらいている。</p>	<p>お酒や薬、かけごともやめられない家族の世話をしている。</p>	<p>治りにくい病気の家族のめんどうをみている。</p>	<p>ご飯をたべさせたり物をとったり、身の回りの世話をしている。</p>	<p>お風呂やトイレなど、からだを動かすときに手伝っている。</p>

※こども家庭庁ホームページを参考に、本調査用に作成しています。

問 35 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。(1 つ選ぶ)

1. あてはまる
2. あてはまらない
3. わからない
4. 答えたくない

問 36 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(1 つ選ぶ)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

「ヤングケアラー」に関する実態調査
－高校生世代向けアンケート調査結果報告書－

令和6年 10月発行

編集・発行：杉並区 子ども家庭部 子ども家庭支援課
(杉並子ども家庭支援センター)

〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北 1-4-2 TEL：03-5356-2602

杉並区のホームページでご覧になれます。<https://www.city.suginami.tokyo.jp>